官報

昭和九年一月三十一日
第二千百二十二號　水曜日

勅令

朕製鐵所官制中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

昭和九年一月三十日

内閣總理大臣　子爵　齋藤　實
商工大臣　男爵　中島久萬吉

勅令第七號

製鐵所官制中左ノ通改正ス

第二條　製鐵所ニ左ノ職員ヲ置ク

長官　勅任
副參事　專任二人　奏任
書記　專任九人　判任

第五條及第五條ノ二ヲ削ル

第六條中「理事參事及」ヲ削リ同條ヲ第五條トス

第七條、第七條ノ二及第九條乃至第十四條ヲ削リ第八條ヲ第六條トス

附　則

本令ハ昭和九年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

製鐵所ハ政府ガ日本製鐵株式會社法ニ依リ製鐵所特別會計ニ屬スル固定財産其ノ他ノ財産ヲ出資シタル後ニ於テハ其ノ前ノ銅鐵ノ製造及販賣ニ關スル事務ヲ掌ル

本令施行ノ際現ニ本令ニ依ル廢官ニ係ル官ニ在リ休職中ナル者ニ付テハ其ノ休職滿期ニ至ル迄ノ間臨時其ノ官ヲ置カレタルモノトシ其ノ官等及俸給ハ從前ノ例ニ依ル

（參照）
明治四十四年七月二十四日公布勅令第二百五號製鐵所官制

抄錄

第二條　製鐵所ニ左ノ職員ヲ置ク

長官	一人	勅任
技監	專任四人	勅任又ハ奏任
理事	專任七人	奏任
參事	專任七人	奏任
副參事	專任十人	奏任
技師	專任八十八人	奏任（內五人ヲ勅任トス）（內一人ヲ勅任トス）ヲ得
醫官	專任十四人	奏任（內一人ヲ勅任トス）ヲ得
書記	專任百十五人	判任
技手	專任三百五人	判任
醫員	專任五人	判任

前項職員ノ外製鐵所ニ製鐵手ヲ置ク　判任官ノ待遇ト其ノ定員ハ商工大臣之ヲ定ム

第五條　長官事故アルトキハ總務部長タル理事其ノ職務ヲ代理ス（總務部長）

第五條ノ二　技監ハ技術ヲ統理ス

第六條　理事參事及副參事ハ上官ノ命ヲ承ケ所務ヲ掌ル

第七條　技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第七條ノ二　醫官ハ上官ノ命ヲ承ケ醫務ヲ掌ル

第九條　技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ從事ス

第九條ノ二　醫員ハ上官ノ指揮ヲ承ケ醫務ニ從事ス

第九條ノ三　製鐵手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務又ハ技術ニ從事ス

第十條　製鐵所ニ研究所ノ外左ノ十部ヲ置ク

總務部　化工部
工務部　工務部
販賣部　販賣部
醫務部

第十一條　總務部ニ於テハ機密、人事、庶務、議會、決算、諸會計及鑛山ニ關スル事項竝他ノ部所ノ主掌ニ屬セサル事項ヲ掌ル

監理部ニ於テハ各部間ノ技術上ノ連絡統制竝原料、製品、製器、機械、諸設備及第十一事ノ檢査ニ關スル事項ヲ掌ル

勞務部ニ於テハ所內取締、從業員ノ福利增進、共濟組合、健康保險組合、職工敎育其ノ他一般勞務ニ關スル事項ヲ掌ル

銑鐵部ニ於テハ銑鐵ノ製造ニ關スル事項ヲ掌ル

製鋼部ニ於テハ鋼及鐵合金ノ製造ニ關スル事項ヲ掌ル

鋼材部ニ於テハ鋼材ノ製造ニ關スル事項ヲ掌ル

化工部ニ於テハ骸炭及爐材ノ製造竝ニ副生物ノ收集加工ニ關スル事項ヲ掌ル

工務部ニ於テハ工事、機械其ノ他ノ諸設備ノ作、原動力、運搬及電氣ニ關スル事項ヲ掌ル

販賣部ニ於テハ製品ノ販賣ニ關スル事項ヲ掌ル

醫務部ニ於テハ醫療及衛生ニ關スル事項ヲ掌ル

研究所ニ於テハ技術上ノ研究ニ關スル事項ヲ掌ル

第十二條　部所ニ長ヲ置ク總務部長ハ理事ヲ以テ其ノ他ノ部所ノ長ハ理事、參事、技師又ハ醫官ヲ以テ之ニ充ツ

部所ノ長ハ上官ノ命ヲ承ケ所屬ノ事務ヲ掌理シ部下ノ職員ヲ指揮監督ス

商工大臣ハ必要ニ應シ技監ヲ以テ部所ノ長ニ充ツルコトヲ得

第十三條　商工大臣ハ事業上ノ須要ニ依リ製鐵所ニ商工參與ヲ設クルコトヲ得

第十四條　商工大臣ハ製鐵所出張所ヲ設クルコトヲ得

出張所所管ノ事務ハ商工大臣之ヲ定ム

昭和九年一月三十日

内閣總理大臣　子爵　齋藤　實

勅令第八號

高等官官等俸給令中左ノ通改正ス

第八條中「製鐵所理事」及「製鐵所技監」、「製鐵所理事（總務部長）タル」、「製鐵所理事」及「製鐵所醫官」ヲ削ル

第十四條中「製鐵所參事」及「製鐵所醫官」ヲ削ル

別表第一表商工省ノ部中製鐵所理事（總務部長）タルノ項、製鐵所理事ノ項、製鐵所技監ノ項及製鐵所醫官ノ項ヲ削ル

別表第四表中「製鐵所理事　奏任タルモノ」ヲ削ル

附　則

本令ハ昭和九年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

御名　御璽

朕高等官官等俸給令中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

朕昭和八年法律第四十八號製鐵業奬勵法中改正法律施行期日ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

昭和九年一月三十日

内閣總理大臣　子爵　齋藤　實
大藏大臣　高橋　是清
內務大臣　男爵　山本　達雄
商工大臣　男爵　中島久萬吉

勅令第九號

昭和八年法律第四十八號ハ昭和九年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

本文
昭和九年一月三十一日印刷　昭和九年一月三十一日發行
定價一箇月金二十五錢　送料一箇月金十錢
編輯兼發行人　印刷所　發行所
東京市麹町區大手町二丁目二番地
電話丸ノ內（23）一二二〇番
大藏省印刷局
東京市麹町區大手町二丁目二番地
大藏省印刷局
東京市麹町區大手町二丁目二番地
大藏省印刷局
廣告取扱所

朕昭和八年法律第四十八號製鐵業奬勵法中改正法律ノ一部ヲ朝鮮ニ施行スルノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和九年一月二十日

内閣總理大臣子爵　齋藤　實
拓務大臣　永井柳太郎

勅令第十號

昭和八年法律第四十八號附則第二項及第三項ノ之ヲ朝鮮ニ施行ス

附　則

本令ハ昭和八年法律第四十八號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕
昭和八年四月六日公布法律第四十八號製鐵業奬勵法中改正
附則第二項及第三項
本法施行ノ際現ニ第八條ノ規定ニ依リ奬勵金ノ交付ヲ受クルコトヲ得ベキ製鐵專業者ガ本法施行前ニ製造シタル銑鐵ノ奬勵金ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル
本法施行前第八條ノ規定ニ依リ奬勵金ノ交付ヲ受ケタル者ニ付テハ仍從前ノ第十條ノ規定ヲ適用ス

朕製鐵業奬勵法施行令中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和九年一月二十日

内閣總理大臣子爵　齋藤　實
大藏大臣　高橋　是清
商工大臣男爵　中島久萬吉
拓務大臣　永井柳太郎

勅令第十一號

製鐵業奬勵法施行令中左ノ通改正ス

第二條第一項中「及第八條第二號」ヲ削ル

第五條　削除

第六條　削除

第十條第一項中「一割五分」ヲ「一割五分以内」ニ、「二十四圓六十六錢」ヲ「二十四圓六十六錢以内」ニ、「三十一圓五十錢」ヲ「三十一圓五十錢以内」ニ、「一割八分」ヲ「一割八分以内」ニ改ム

第十六條中「第五條、」ヲ削ル

附　則

本令ハ昭和八年法律第四十八號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和八年法律第四十八號附則第二項ノ規定ニ依リ奬勵金ノ交付ヲ受ケタル者ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

第一條　日本製鐵株式會社法施行令第二條第一項ノ表中「第五條」ヲ「第五條第一項」ニ改ム

第二條　日本製鐵株式會社ハ毎營業期經過後遲滯ナク事業成績書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第三條　日本製鐵株式會社ハ商工大臣ノ認可ヲ受クベシ

規程又ハ從業者給與規程其ノ他ノ業務ニ關スル重要ナル規程ヲ設ケントスルトキハ商工大臣ノ認可ヲ受クベシ之ヲ改廢セントスルトキ亦同ジ

第四條　日本製鐵株式會社ハ其ノ經理ニ影響ヲ及ボスベキ多額ノ投資、貸付又ハ借入其ノ他重要ナル契約ヲ締結セントスルトキハ商工大臣ノ認可ヲ受クベシ

第五條　日本製鐵株式會社ハ定時總會ノ會日ヨリ一週間前ニ商法第百九十條ニ揭グル書類及株主名簿ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第六條　日本製鐵株式會社ハ株主總會終結後遲滯ナク其ノ決議錄ノ寫ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第七條　日本製鐵株式會社ハ每月其ノ事業ノ狀況報告書ヲ作成シ翌月末日迄ニ之ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第八條　日本製鐵株式會社ハ每月末日ニ於ケル總勘定元帳ノ殘高ニ依リ貸方對照表ヲ作成シ翌月十日迄ニ之ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第九條　日本製鐵株式會社法第十一條ノ製鐵事業ノ範圍ハ銑鐵製造事業（副生物ノ製造ヲ含ム）、鋼鐵製造事業及鋼材製造事業竝ニ此等ノ事業ト共ニ讓受クル日本製鐵株式會社法第二條ノ附帶事業トス

第十條　日本製鐵株式會社法第十四條ノ重要財產ノ範圍左ノ如シ

事業計畫ヲ變更セントスルトキ亦前項ニ同ジ

第一項ノ認可ノ申請ハ營業期開始ノ二月前迄ニ之ヲ爲スベシ

日本製鐵株式會社ハ每營業期經過後遲滯ナク事業成績書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第二條　日本製鐵株式會社ハ營業期每ニ其ノ決算ニ付商工大臣ノ認可ヲ受クベシ

第三條　日本製鐵株式會社ハ從業者給與規程其ノ他ノ業務ニ關スル重要ナル規程ヲ設ケントスルトキハ商工大臣ノ認可ヲ受クベシ之ヲ改廢セントスルトキ亦同ジ

第四條　日本製鐵株式會社ハ其ノ經理ニ影響ヲ及ボスベキ多額ノ投資、貸付又ハ借入其ノ他重要ナル契約ヲ締結セントスルトキハ商工大臣ノ認可ヲ受クベシ

第五條　日本製鐵株式會社ハ定時總會ノ會日ヨリ一週間前ニ商法第百九十條ニ揭グル書類及株主名簿ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第六條　日本製鐵株式會社ハ株主總會終結後遲滯ナク其ノ決議錄ノ寫ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第七條　日本製鐵株式會社ハ每月其ノ事業ノ狀況報告書ヲ作成シ翌月末日迄ニ之ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第八條　日本製鐵株式會社ハ每月末日ニ於ケル總勘定元帳ノ殘高ニ依リ貸方對照表ヲ作成シ翌月十日迄ニ之ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第九條　日本製鐵株式會社法第十一條ノ製鐵事業ノ範圍ハ銑鐵製造事業（副生物ノ製造ヲ含ム）、鋼鐵製造事業及鋼材製造事業竝ニ此等ノ事業ト共ニ讓受クル日本製鐵株式會社法第二條ノ附帶事業トス

第十條　日本製鐵株式會社法第十四條ノ重要財產ノ範圍左ノ如シ

第五條　製鐵設備、製鋼設備、鋼材製造設備、骸炭製造設備、副生物製造設備、耐火煉瓦製造設備及選鐵其ノ他鑛物處理ニ關スル設備

二　動力設備、給水設備、排水設備、工作設備、輸送設備、總噸數千噸以上ノ船舶岸壁、棧橋、荷役設備、繫船用道、架空索道及研究設備

三　三ヘクタール以上ノ土地及延面積四十アール以上ノ建物

四　工業所有權、鑛業權、土石採取ヲ行フ權利、公有水面ニ埋立ヲ爲ス權利及水ノ使用ニ關スル權利

第十一條　日本製鐵株式會社前條ノ財產其ノ他之ニ準ズベキ重要財產ヲ讓受ケントスルトキハ商工大臣ノ認可ヲ受クベシ

第十二條　日本製鐵株式會社其ノ事業ノ全部若ハ一部ノ廢止、全部ノ休止又ハ六月以上ニ亘ル一部ノ休止ヲ爲サントスルトキハ商工大臣ノ認可ヲ受クベシ

日本製鐵株式會社其ノ事業ノ一月以上六月未滿ノ一部ノ休止ヲ爲ストキハ直ニ其ノ旨ヲ商工大臣ニ屆出ヅベシ

第十三條　日本製鐵株式會社法施行令第二條第一項第一號ノ製鐵原料ハ鐵鑛及滿俺鑛トス

第十四條　日本製鐵株式會社法施行令第二條第一項第二號ニ揭グル費用ハ人件費、原料及材料費、動力及燃料費、消耗品費、修繕費、減價償却費竝ニ雜費トス但シ其ノ研究ニ伴フ製品收入其ノ他ノ收入ハ其ノ費用ヨリ之ヲ控除スルモノトス

第十五條　日本製鐵株式會社法第十七條ノ規定ニ依リ政府ノ所有スル株式ニ對スル配當ニ充ツベキ利益金ヨリ控除シ得ベキ金額ハ場合ニ於テ其ノ利益金額ヲ控除シ得ベキ金額ニ達セザルトキハ其ノ不足額ハ次ノ營業期ニ於ケル控除シ得ベキ金額ニ之ヲ合算シ其ノ合算額ヲ以テ次ノ營業期ニ於ケル控除シ得ベキ金額トス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一條　第一條第一項ノ認可ノ申請ハ第一回ノ營業期ニ在リテハ會社ノ設立登記後一月內ニ、第二回ノ營業期ニ在リテハ營業期開始ノ一月前迄ニ之ヲ爲スベシ

府令

◉臺灣總督府令第百四十四號

大正十年府令第八十五號臺灣所得稅令施行規則中左ノ通改正ス

昭和八年十二月二十日

臺灣總督　中川　健藏

第二十三條　臺灣所得稅令第三十一條第一項但書ノ規定ニ依ル所得調查委員會ハ市ニ之ヲ置ク

第二十四條中「彰花街」ヲ「彰化市」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

◉臺灣總督府令第百四十五號

大正十二年府令第二號農業倉庫業法施行規則中左ノ通改正ス

昭和八年十二月二十三日

臺灣總督　中川　健藏

第一條第十一號中「公益法人」ヲ「農會」ニ改メ同條ニ左ノ一號ヲ加フ

十三　農業ノ發達ヲ目的トスル公益法人ニ在リテハ定款又ハ寄附行爲、財產目錄、豫算及設立ノ許可ヲ證スル書面

第二條及第五條中「第四項」ヲ「第三項」ニ、「第一項乃至第三項」ヲ「第一項及第二項」ニ改ム

第二條第三號、第五條及第八條中「規程」ヲ「規定」ニ改ム

第十條第一項及第二項中「臺灣總督、知事又ハ廳長」ヲ「臺灣總督及知事又ハ廳長」ニ改ム

第十條第三項ヲ左ノ如ク改ム

第六條　監督業務中各部隊間ノ連繫事項ニ付テハ特ニ定ムルモノノ外部隊相互ノ協定ニ依ル

第七條　各部隊ニ於テ本達ニ依ル監督ヲ爲サントスルトキハ軍需品ヲ製造セシメ又ハ之ヲ購入スル際當該工場主ト豫メ其ノ旨特約シ置クモノトス

◉陸達第二號

見習醫官、見習藥劑官教育規則左ノ通定ム

昭和九年一月三十一日

陸軍大臣　林　銑十郎

（左記略ス）

達

◉陸達第一號

軍需品工場ノ監督ニ關スル件左ノ通定ム

昭和九年一月三十一日

陸軍大臣　林　銑十郎

第一條　陸軍ノ軍需品ヲ陸軍部外ノ工場ニ於テ製造セシメ又ハ之ヲ購入スル場合ニ於テ必要アルトキハ工場ノ監督ニ任ズル者ヲ置キ當該軍需品ノ製造、研究、工場ノ設備、機密保持及經理ニ關スル監督竝ニ製造原價ノ調查、購入品ノ檢查及下請工場ノ調查ヲ爲サシム

第二條　陸軍航空本部、陸軍兵器廠、陸軍造兵廠、陸軍被服廠等（以下部隊ト稱ス）ノ長官ハ當該部隊附將校同相當官又ハ技師ヲ以テ工場ノ監督ニ任ズル者ニ充テ必要ニ應ジ准士官、下士官、判任文官ヲ附屬セシム

第三條　製造原價ヲ調查スベキ品目及經理ニ關スル監督ヲ爲スベキ工場ハ特ニ指定スルモノノ外當該部隊ノ長官ニ於テ之ヲ定ムルモノトス

第四條　各部隊ノ長官ハ每年一月及七月ニ調查概況書ヲ調製シ陸軍大臣ニ提出スルモノトス

第五條　各部隊ノ長官ハ工場ノ監督ニ任ズル者ノ執務要領ヲ定メ陸軍大臣ニ報告スルモノトス

省令

◉商工省令第二號

日本製鐵株式會社法施行規則左ノ通定ム

昭和九年一月三十一日

商工大臣　男爵　中島久萬吉

日本製鐵株式會社法施行規則

第一條　日本製鐵株式會社ハ營業期每ニ事業計畫ヲ定メ豫算書ヲ添ヘ商工大臣ノ認可ヲ受クベシ

告示

◉內務省告示第三十八號

市制第三條及町村制第三條ニ依リ昭和九年二月十一日ヨリ埼玉縣北足立郡浦和町ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ浦和市ヲ置ク

昭和九年一月三十一日

內務大臣　男爵　山本　達雄

◉內務省告示第三十九號

國籍法第二十條ノ二第二項ノ規定ニ依リ日本國籍ノ離脫ヲ爲シタル者左ノ如シ

昭和九年一月三十一日

內務大臣　男爵　山本　達雄

原　籍　熊本縣菊池郡平眞城村大字平川二千五百十九番地
北米合衆國ワシントン州キング郡カークランド
現住地　東京市本鄕區弓町二丁目二十一番地
米領アラスカアンカレージ市鄕
函一四八
土井　正人
三上　正男

本文 2126 2127

原　籍　福島縣安達郡油井村字馬出町三十一番地
現住地　北米合衆國ワシントン州シアトル市オクシデンタル街二一〇
佐藤米太郎
原　籍　大分縣大分郡戸次町大字下戸次
現住地　米領布哇縣布哇島ホノム
後藤ユリ子
後藤アイ子
後藤ミヨ子
後藤　始

◉司法省告示第四號

高知縣高岡郡大桐村役場昭和九年一月十八日火災ニ罹リ同役場ニ保存スル戸籍簿、除籍簿、寄留簿、寄留手續令第十一條ノ用紙全部燒失シタルニ付右再製上必要アルヲ以テ左ニ掲ゲタル者ハ昭和九年四月三十日迄ニ同村長ニ對シ左ノ手續ヲ爲スベシ

一昭和九年一月一日ヨリ同月十七日迄ノ間ニ於テ同村長ニ對シ戸籍ニ關スル屆出、訂正申請、報告又ハ請求ヲ爲シタル者ハ其ノ事項ヲ更ニ申出ヅルコト

一昭和九年一月一日ヨリ同月十七日迄ノ間ニ於テ同村長ニ對シ戸籍ニ關スル屆書、訂正申請書、報告書、請求書又ハ入籍通知書ノ送付ヲ爲シ又ハ同村長ノ發送ニ係ル此等ノ書類ノ送付ヲ受ケタル市町村長ハ其ノ書類ノ寫ヲ作リ之ヲ送付スルコト

一大正三年十二月三十一日迄ニ同村長ニ對シ轉籍、本籍地變更、就籍又ハ除籍ニ關スル屆出ヲ爲シタル者ハ其ノ事項ヲ更ニ申出ヅルコト

一大正三年十二月三十一日迄ニ同村長ニ對シ轉籍屆書又ハ入籍通知書ノ送付ヲ爲シ又ハ同村長ノ發送ニ係ル此等ノ書類ノ送付ヲ受ケタル市町村長ハ其ノ書類ノ寫ヲ作リ之ヲ送付スルコト

一現ニ同村ニ寄留スル者又ハ同村ヨリ他ニ出寄留中ノ者ハ寄留ニ關スル屆出事項ヲ更ニ申出ヅルコト

一同村ニ本籍ヲ有スル者ノ寄留地市町村長ハ寄留簿ニ基キ寄留手續令第十一條ノ用紙ニ記載ヲ要スベキ事項ヲ謄寫シテ送付スルコト

（注意）

一申出ハ口頭ヲ以テ爲スモ差支ナキコト

一申出ノ手續ニ付不審ノ廉アラバ大桐村役場又ハ須崎區裁判所ニ就キ承合スルコト

一市町村長ノ送付スベキ屆書類ノ寫ハ市役所町村役場又ハ區裁判所ニ保存スルモノニ就キ市町村長之ヲ謄寫スルコト

昭和九年一月三十一日

司法大臣　小山　松吉

◉文部省告示第二十五號

小學校教科用圖書翻刻發行ニ關スル規程ニ依リ翻刻發行ヲ許可スル小學校教科用圖書中左ノ通定價ヲ定ム

昭和九年一月三十一日

文部大臣　鳩山　一郎

尋常小學國書	第五學年、男兒用	金十八錢
同	第五學年、女兒用	金十六錢
高等小學地理書	卷一	金十二錢

皇太子殿下御誕生奉祝歌

一
靜かにあくる夜のとばり
朝日ただすてこの國に
日嗣の皇子は生れましぬ

二
豐葦原の中つ國
神の宣らせし大勅
日嗣の皇子は生れましぬ

三
波風四方に荒くとも
奇しきさだめの國民に
日嗣の皇子は生れましぬ

瑞雲こむる大八洲
今よろこびの聲充ちて
日嗣の皇子は生れましぬ
皇孫ゆきて治めよと
今さながらにうけまして
日嗣の皇子は生れましぬ
ゆるがぬ國の大日本
榮あらせんと畏くも
日嗣の皇子は生れましぬ

◉文部省告示第二十六號

石川縣珠洲郡飯田町ニ設置セル石川縣飯田中學校ヲ昭和九年二月ヨリ縣立ニ變更シ石川縣立飯田中學校ト改稱ノ件昭和九年一月二十九日認可セリ

昭和九年一月三十一日

文部大臣　鳩山　一郎

◉文部省告示第二十七號

山口縣宇部市小串ニ設置セル山口縣立宇部工業學校竝ニ同縣都濃郡末武南村ニ設置セル山口縣立下松工業學校ノ入學資格、修業年限ヲ昭和九年四月ヨリ左ノ通變更ノ件昭和九年一月三十日認可セリ

昭和九年一月三十一日

文部大臣　鳩山　一郎

入學資格　尋常小學校卒業程度
修業年限　五年

◉文部省告示第二十八號

皇太子殿下御誕生ヲ奉祝スル爲小學校竝ニ諸學校其ノ他ニ於テ學式ノ際唱歌用ニ供スル歌詞竝ニ樂譜左ノ通撰定ス

昭和九年一月三十一日

文部大臣　鳩山　一郎

未定
2129
05

◉農林省告示第三十三號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

昭和九年一月三十一日

農林大臣　後藤　文夫

字	地番	面積	所有者
廣島縣呉市吉浦町			
猪山	一	町段歩 七〇・〇二	國

◉農林省告示第三十四號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

昭和九年一月三十一日

農林大臣　後藤　文夫

字	地番	面積	所有者
福岡縣遠賀郡岡垣村大字藤塚		町段歩 一三・二七	國
藤塚濱	一ノ九二	一三	同
同大字黒山			
黒山濱	一、六三六	一七	國

◉遞信省告示第百八十五號

昭和五年六月遞信省告示第千六百六十九號外國小包郵便料金表第一郵便料金ノ部中「ポルトガル」國殖民地「アソール」島「マデール」島ノ項ヲ左ノ二項ニ改ム

昭和九年一月三十一日

遞信大臣　南　弘

| 名宛國 | 種別 | 交換方法及經由國 | 差立郵船 | 郵便 | | |

◎臺灣總督府告示第百七十九號

「クリスマス」及新年祝賀特別電報ノ郵便逓達ヲ爲ス電信官署名及其ノ受持區域左ノ如シ

昭和八年十二月二十三日　臺灣總督　中川　健藏

電信官署名	受持區域	
臺北電信局	臺北州、新竹州、臺中州、臺南州及高雄州	
花蓮港郵便局	花蓮港廳及臺東廳	
澎湖郵便局	澎湖廳	

◎臺灣總督府告示第百八十號

今般社會事業奬勵ノ思召ヲ以テ左ノ通御下賜金アリタル旨通知アリタリ

昭和八年十二月二十三日　臺灣總督　中川　健藏

一金參千圓也　林本源博愛醫院

一金參千圓也　臺南愛護會

正誤

本月二十五日遞信省告示第百五十一號改稱中羽前高崎ニ傍訓ウゼンタカサキニ脫ス　遞信書記官

昨八年十二月二十六日廣島縣告示保編第一號中六五六頁四段而積ノ部初行「二五、二二二二ハ」ヲ「二五、二二三二ノ內」ノ誤　地方事務官（廣島縣）

同日同號中六五七頁二段地番ノ部五行「三二四」ハ印刷不鮮明ノ分モアル（ヘン

敍任及辭令

◉昭和九年一月二十八日

授旭日桐花大綬章　從二位勳一等男爵　古市　公威

◉昭和九年一月二十九日

敍正五位　從五位勳三等　吉田　長助

任朝鮮總督府技手　朝鮮總督府技手兼朝鮮總督府稅關技手　神國　政也

敍高等官七等　神國　政也

敍從七位　正六位　牧野　謙二

◉昭和九年一月三十日

賜從五位　故　川住　行敎

敍正六位　從六位　橫山　將來

敍高等官四等　陸軍步兵伍長正七位　宮本　邦彥

任地方技師　敍高等官六等　北海道廳農林技手　舟茂　宣雄

敍高等官七等　愛知縣農林技手　有馬　正純

（參通）　吉野　至德

敍從七位　稅務監督局屬　下村　才彌

任司稅官　敍高等官七等　陸軍技手　小波　盛弥

任陸軍技師　敍高等官七等　農林屬陸軍步兵少尉從七位勳七等　山本　鉄次

任農林理事官　敍高等官六等　農林技手　千代間光二

任農林技師　敍高等官七等　鐵道屬　工藤　龜一

任鐵道省事務官　敍高等官七等　鐵道局書記勳八等　門田　信治

任鐵道局副參事　敍高等官七等　拓務屬　關口　要藏

任拓務理事官　敍高等官七等　朝鮮總督府黃海道警部從七位勳八等　松本　利雄

任朝鮮總督府道警視　敍高等官七等　橫井　憲一

任臺灣總督府技師　敍高等官七等　朝鮮總督府水原高等農林專攻教授從四位勳四等　葛野淺太郎

任臺灣總督府中央研究所技師　敍高等官四等

（參通）故陸軍砲兵伍長永井直母　永井　ヤヱ

故陸軍砲兵伍長平後圓操母　平後圓クマ

昭和六年陸軍省告示第三十七號ニ依リ特ニ金壹千六百圓ヲ賜フ

故陸軍砲兵伍長小林次妻　小林　てつ

昭和六年陸軍省告示第三十七號ニ依リ特ニ金壹千貳百圓ヲ賜フ

故陸軍步兵上等兵酒井幸右エ門父　酒井幸一

故陸軍步兵上等兵橫山眞義父　橫山　捨吉

故陸軍步兵上等兵田中市郎父　田中二次郎

故陸軍步兵上等兵能田博父　能田留太郎

故陸軍步兵上等兵村上正治父　村上　與吉

故陸軍步兵上等兵二澤兼雄父　二澤　金作

（參通）

故陸軍步兵上等兵森本政藏兄　森本　辰男

故陸軍步兵上等兵齊藤登母　齊藤ミチノ

故陸軍步兵上等兵余田末吉父　余田　冨藏

故陸軍步兵上等兵翁彥市父　翁今朝五郎

故陸軍步兵上等兵矢花武二父　矢花　寬一

故陸軍步兵上等兵戶谷嘉助父　戶谷　幸松

昭和六年陸軍省告示第三十七號ニ依リ特ニ金壹千四百圓ヲ賜フ（以上十一日陸軍省）

陸軍技師　小波　盛弥

九級俸下賜　補陸軍造兵廠屬（十一日同）　吉原區裁判所判事兼靜岡地方裁判所判事　梅本　鶴吉

補靜岡地方裁判所部長

二級俸下賜　札幌控訴院檢事檢事　長谷川　劉

補東京區裁判所檢事兼東京地方裁判所檢事　京都地方裁判所檢事兼京都區裁判所檢事　國分　友治

補札幌控訴院檢事

四級俸下賜　前橋區裁判所檢事兼前橋地方裁判所檢事　長友　安夫

補宇都宮區裁判所檢事兼宇都宮地方裁判所檢事　宇都宮區裁判所檢事兼宇都宮地方裁判所檢事　中島　大智

補前橋區裁判所檢事兼前橋地方裁判所檢事

（參通）

札幌控訴院檢事檢事　熊谷　誠

札幌控訴院判事判事　伊藤　祐一

公證人懲戒委員ヲ命ス

札幌地方裁判所部長判事　高田　豐

札幌控訴院檢事檢事　田部　顯徳

札幌控訴院判事判事　室谷　慶一

札幌區裁判所判事判事　廣瀨　通

公證人懲戒豫備委員ヲ命ス

札幌控訴院檢事檢事　熊谷　誠

文官普通懲戒委員ヲ命ス

司法官試補　田中　良男

岡山區裁判所檢事代理ヲ命ス（以上十一日司法省）

九州帝國大學助敎授　長田　三郎

本俸六級俸下賜

經濟學第四講座分擔職務俸金五百圓下賜（十一日文部省）

商工書記官　岸　信介

大臣官房統計課長兼務ヲ命ス

統計主任ヲ命ス

臨時產業合理局事務官　藤田國之助

二級俸下賜

臨時產業合理局第一部長ヲ命ス

臨時產業合理局第二部兼務ヲ命ス

臨時產業合理局文官普通懲戒委員ヲ命ス

製鐵所理事　長崎榮十郎

一級俸下賜

商工書記官　永田彦太郎

二級俸下賜

商務局取引課長ヲ命ス　同　坂　薰

工務局工政課長ヲ命ス　同　岸　信介

商務局兼務ヲ命ス　同

工務局工政課長兼務ヲ免ス　同　楠瀨　常猪

大臣官房文書課勤務ヲ命ス

（參通）

商工事務官　石田　磊

同　岡村　武

九級俸下賜　殖產局勤務ヲ命ス（十一日拓務省）　島田　章

七級俸當分千五百九拾圓下賜　公立實業學校敎諭兼公立實業學校舍監　懸野　久方

八級俸當分千四百六拾圓下賜

加俸年額九拾六圓下賜　實業補習學校敎員養成所敎諭　黑田　忠雄

七級俸當分千六百下賜（以上十一日兵庫縣）

正誤

本月二十七日本欄七四九頁一段直岩みをハ眞岩みを同人ノ上直岩繁作ハ眞岩繁作ノ誤ヲ報告誤

昨三十日本欄七一九頁四段藤井和之ハ藤井知之ノ報告誤　文部書記官

彙報

○官廳事項

◉航空事業調査委員會委員囑託並解囑　遞信省內ニ設置ノ航空事業調査委員會委員一昨二十九日左ノ通囑託並ニ解囑セラレタリ

海軍中將　鹽澤　幸一

航空事業調査委員會委員ヲ囑託ス

海軍中將子爵　加藤　隆義

航空事業調査委員會委員囑託ヲ解ク

◉退職　福岡縣公立小學校長栃岡藤太郎ハ本月二十日願ニ依リ退職ヲ命セラレタリ

◉囑託解囑　少年保護司事務囑託　鈴木淨海ハ一昨二十九日願ニ依リ囑託ヲ解カレタリ

◉勳等功級及從軍記章等褫奪　勳章褫奪令第一條及第六條ニ依リ勳等功級及明治二十七八年從軍記章、明治三十七八年從軍記章、大正三年從軍記章、大正三年至

乃九年戰役從軍記章、戰捷記章、大禮記念章ヲ褫奪セラレタル者左ノ如シ氏名ノ下ニ在ル數字ハ褫奪ノ年月日ナリ

勳三等及大禮記念章（大正）

河上　肇（昭和八、九）

勳七等及大正三四年從軍記章大正三年乃至九年戰役從軍記章

提谷貢三郎（八、一〇）

勳八等功七級及明治三十七八年從軍記章

須藤茂三郎（一、一）

勳八等及明治三十七八年從軍記章明治三十三年從軍記章

南　近六（一、一）

勳八等及明治三十七八年從軍記章大禮記念章（大正）

西野常次郎（一、一）

勳八等及明治三十七八年從軍記章

齋藤　愛藏（三、一〇）

赤井　留吉（五、七）

今野　金藏（五、三）

岡田　末吉（七、三）

加藤宗太郎（一、九）

馬場　辰平（三、九）

勳八等及大正三年乃至九年戰役從軍記章戰捷記章

山崎　泉三（一、三）

小堀　元重（八、八）

中本　久信（六、四）

勳八等及大正三年乃至九年戰役從軍記章大禮記念章（昭和）

中島　政治（八、一）

勳八等及大正三年乃至九年戰役從軍記章

竹中　岩吉（八、三）

佐藤市四郎（三、一〇）

勳八等及大禮記念章（昭和）

樋上　一三（八、三）

勳八等

松尾　秀雄（一、三）

明治二十七八年從軍記章明治三十七八年從軍記章

佐藤　小市（九、一）

明治三十七八年從軍記章

松本　喜藏（八、一）

矢野民太郎（八、一〇）

一瀨丑太郎（三、八）

大正三年乃至九年戰役從軍記章

葛城知次夫（四、九）

大禮記念章（昭和）

古賀　清志（三、一）

三上　卓（同）

黑岩　勇（同）

中村　義雄（同）

山岸　宏（同）

長田泉三郎（九、一〇）

林　良治（八、一〇）

大沼　義雄（八、一）

今野儀右エ門（三、五）

昭和九年一月三十一日　木曜日
官報　第二一二三號

◉官吏奏任去及予去　左記官國問官從二位勳一等男爵古市公威八本月二十八日薨去シ判事正五位勳五等橋崎景忠八同二十二日辛去セリ

○警察

◉豫約出版履行　昭和七年三月二十二日木村論治ヨリ千葉縣ヘ屆出テタル「滿洲上游事變出征記念撮影帖」豫約出版ハ之ヲ履行シタル旨申出テタリ（千葉縣）

○陸海軍

◉戰地其他死亡者　戰地其他ニ於ケル陸軍軍人軍屬ノ死亡者左ノ如シ（陸軍省）

昭和八年十二月七日　滿洲國吉林省ニ於テ戰死
鹿兒島縣姶良郡國分町上小川二千二百九番地　軍屬　永藤　秀彦

同九日岡村衛戍病院ニ於テ病死
岡山縣吉備郡服部村大字長六百四十四番地　軍屬　江井　忠

同十五日滿洲國黑龍江省ニ於テ戰死
鳥縣相馬郡大甕村下江井字小谷津百三十番地　陸軍步兵上等兵　服部　牛一

同十五日滿洲國吉林省ニ於テ戰死
靜岡縣駿東郡泉村久根六百九十五番地　陸軍步兵上等兵　鈴木　武夫

同十六日滿洲國吉林省ニ於テ病死
岡山縣勝田郡古吉野村大字河原六百九十三番地　陸軍步兵伍長　前原　溥

同十二日滿洲國吉林省ニ於テ戰死
同縣後月郡木之子村千五百六十九番地　西江　豊

同十九日東京第一衞戍病院ニ於テ病死
千葉縣香取郡大倉村大倉二百七十六番地　陸軍騎兵上等兵　鈴木　武夫

◉所在不明　徵兵終決處分未濟者　群馬縣ニ於テ昭和八年ニ生シタル　所在不明ノ徵兵終決處分未濟者左ノ如シ（群馬縣）

本籍地	氏名	生年月日
勢多郡東村大字澤入一二〇五	加藤　三郎	明治四五・三・二一
同宮城村大字上白井一四八	深澤雄一郎	大正元・八・六
同宮城村大字上白井甲一八二	神藤　見治	明治四〇・七・二八
同金島村大字阿久津一〇〇	堀地　多朔	四一・六・一
同澁川町一八九三	廣田　武雄	大正二・一・六
同澁里村大字青梨子二七四	松下房次郎	明治四二・三・二八
同大字上青梨子二七四	馬場　德一	四四・九・一〇
同澁川町一五一ノ二	篠崎　明	四三・三・三
同金古町大字金古二八二ノ二	深澤　一	四一・七・二一
同伊香保町大字湯中子七五一	島村幸一郎	四四・四・二
同駒寄村大字大久保三二九	間瀨日露次郎	大正二・一〇・九
同瀧川村大字八幡原八九六ノ一	岩田　精雄	二・一〇・三〇
同室田町大字下室田一二八	福井　廣吉	明治四四・三・三
同久留馬村大字高濱一〇	原田孝次郎	四〇・一一・九
同提ヶ岡村大字寶島二〇	竹內　晃	大正二・五・三
同大類村大字宿大類番外一號	磯貝友三郎	明治四五・一・七
同六郷村大字下小鳥八一同六	中里　松雄	四二・二・一〇
同大字下小塙三七六	小見庄太郎	四一・九・三〇
同長尾村大字白井九〇	福田　國雄	大正二・四・六
同倉田村大字瀧田三七	宮下　義男	明治三・一一
堀越　深八	堀越　深八	三・一二・四
同東村大字箱田一五三	稻葉　五一	三四・五・五
同中川村大字小八木九五	吉田　丑松	四四・二・七
同倉田村大字權田	富澤　猪吉	三一・五・一六
同長尾村大字吹屋八五	堀川森之助	三二・二・一七
同國府村大字稻荷塚三四	長井長次郎	三五・一・二三
同富士見村大字石井一六九六	中村　武英	三八・八・二八
同荒砥村大字二之宮三五六四	神澤　德藏	三九・四・一
同敷島村大字棚下一四四七	狩野仙次郎	三九・九・二五
同芳賀村大字端氣二六一四四	小澤　寅吉	三五・二・二五
同居	小澤　雄一	三二・一・一
群馬郡長尾村大字横堀一五九五	金井榮五郎	四四・五・三〇
同白郷井村大字上白井甲一八二	山田　梅吉	四三・三・二五
同金島村大字阿久津一〇〇	堀地　多朔	四一・六・一
同澁川町一八九三	廣田　武雄	大正二・一・六
同澁里村大字青梨子二七四	松下房次郎	明治四二・三・二八
同大字上青梨子二七四	馬場　德一	四四・九・一〇
同澁川町一五一ノ二	篠崎　明	四三・三・三
同金古町大字金古二八二ノ二	深澤　一	四一・七・二一
同伊香保町大字湯中子七五一	島村幸一郎	四四・四・二
同駒寄村大字大久保三二九	間瀨日露次郎	大正二・一〇・九
同瀧川村大字八幡原八九六ノ一	岩田　精雄	二・一〇・三〇
同室田町大字下室田一二八	福井　廣吉	明治四四・三・三
同久留馬村大字高濱一〇	原田孝次郎	四〇・一一・九
同提ヶ岡村大字寶島二〇	竹內　晃	大正二・五・三
同大類村大字宿大類番外一號	磯貝友三郎	明治四五・一・七
同六郷村大字下小鳥八一同六	中里　松雄	四二・二・一〇
同大字下小塙三七六	小見庄太郎	四一・九・三〇
同長尾村大字白井九〇	福田　國雄	大正二・四・六
同倉田村大字瀧田三七	宮下　義男	明治三・一一
堀越　深八	堀越　深八	三・一二・四
同東村大字箱田一五三	稻葉　五一	三四・五・五
同中川村大字小八木九五	吉田　丑松	四四・二・七
同倉田村大字權田	富澤　猪吉	三一・五・一六
同長尾村大字吹屋八五	堀川森之助	三二・二・一七
同國府村大字稻荷塚三四	長井長次郎	三五・一・二三
同大字下細井二九九	奈良　芳雄	大正二・一・一七
同大字上小出二五四ノ一	萩原　政次	二・九・二四
同横野村大字見立五四	望月　留吉	二・二・九
同新里村大字新川一九九	坂本　春雄	明治四〇・一・二
同北橋村大字分郷八崎四五九	小泉　時平	大正二・一・二五
同敷島村大字深山六九	須田閑重郎	明治三〇・一・二
同粕川村大字下東田面二七	牛房　久弥	三〇・九・九
同東村大字草木四二	齋藤春太郎	三一・五・二三
同大字澤入無番地	中田長太郎	三四・一・二九
同木瀨村大字小島田五三五	下田　利衛	三三・一一・二三
同大字上大島五九一	樋下田國太郎	三〇・九・九
同南橘村大字陽根五八七	山田熊太郎	三一・一・五
同北橘村大字八崎無番地	須田　靜	三五・八・一二
同大字下細井二九九	奈良　芳雄	大正二・一・一七
同大字上小出二五四ノ一	萩原　政次	二・九・二四
同横野村大字見立五四	望月　留吉	二・二・九
同新里村大字新川一九九	坂本　春雄	明治四〇・一・二
同北橘村大字分郷八崎四五九	小泉　時平	大正二・一・二五
同敷島村大字深山六九	須田閑重郎	明治三〇・一・二
同粕川村大字下東田面二七	牛房　久弥	三〇・九・九
同東村大字草木四二	齋藤春太郎	三一・五・二三
同大字澤入無番地	中田長太郎	三四・一・二九
同木瀨村大字小島田五三五	下田　利衛	三三・一一・二三
同大字上大島五九一	樋下田國太郎	三〇・九・九
同南橘村大字陽根五八七	山田熊太郎	三一・一・五
同北橘村大字八崎無番地	須田　靜	三五・八・一二
同中川村大字井野五〇五	高橋七三太郎	三五・一・三一
同澁川村大字下澁三七	天田　作	三五・二・一五
同金古町大字金古五四	三澤五郎吉	三六・一・二〇
同京ヶ島村大字萩原四三	湯田　幾三	三八・八・一九
同白郷井村大字上白井九九九	小菅武一郎	三八・一・二六
同長尾村大字白井九六ノ二	宮下　金作	三八・三・二八
同明治村大字南下	神藤　見治	三八・三・二五
同桃井村大字新井六七	鎌田信治郎	三八・二・二一
同元總社村大字石倉二八〇	佐藤　秀治	三九・三・二
同六郷村大字下小塙五	金井　靜夫	三六・九・三三
同倉田村大字三ノ倉二二〇四	佐田仁一郎	三六・一・一一
多野郡新町乙二六一	梅澤　勇	四三・四・二
同神流村大字下栗須一〇三五	高橋　一夫	四三・六・四
同上野村大字乙父一	平柳　里次	四三・二・一二
同上野村大字多比良三	古舘　巖	四一・一・八
同八幡村大字木部四三	岡田　文雄	四一・一〇・二四
同吉井町大字吉井甲五	登坂　文吾	四四・七・九
同美土里村大字本動堂五〇	山田福太郎	三・一・三一
同小野村大字上栗須五	設樂榮太郎	四一・一〇・一五
同大字立石甲五九五	小林永三郎	四四・七・二六
同日野村大字日野一〇	園木英三郎	三三・八・一六
同多胡村大字高一一	增茂　嘉平	三三・四・二四
同藤岡町大字藤岡六〇八	鈴木　庄平	三三・四・六
同三〇八	根岸要太郎	四四・七・二三
同乙一一九七	種村　眞龍	四四・一・三
同万場町大字青梨四五	梅島　鶴一	三一・一・五
同鬼石町大字淨法寺一一二二	宮崎　匡夫	三三・一〇・一〇
同神流村大字岡之郷八九	入野　弘儀	三三・一二・三
同美九里村大字根岸一八	松本　正壽	三六・一二・四

同小野村大字上後閑一四四七　金井丑五郎　三四、五、二八
同平井村大字白石一一〇　高橋市次郎　三〇、三一〇
同小野村大字立石一、金井　讓治　三九、三、一一
同新町二二九七　馬場　伴藏　大正二、一、一三
同吉井町大字吉井川一二四　松井　文藏　二、四、一三
北甘樂郡青倉村大字青倉一八九　土谷　都夫　明治四二、一〇、一〇
同大字宮室二七　佐藤袈裟五郎　四四、一、二八
同沙羅町大字菅原一、吉岡　儀雄　四二、七、五
同一ノ宮町大字宮崎七　富永友次郎　大正二、四、一二
同富岡町大字七日市四五　甲田袈裟次　明治四五、二、五
同大字富岡一〇七　東　茂　四〇、三、二八
同大字七日市四五　甲田榮太郎　四三、七、二三
同尾澤村大字上尾一、市川袋三郎　四四、二、五
同小野村大字下高尾五六五　佐藤　渡　四三、一〇、二四
同西牧村大字西野牧甲一四二　佐藤才十郎　四〇、四、二三
同高濱村大字高濱一三六　矢野間吉一　大正二、三、二三
同月形村大字六車一三九　石井理三郎　明治四一、五、二
同下仁田町大字下仁田二六五　勝山長次郎　四一、七、一
同一九八　鈴木信太郎　四二、八、二三
同二五〇　近田　精吉　四五、三、二六
同大字川井一六三　佐藤　八郎　大正元、一〇、六
同小幡村大字善慶寺五二　加藤　勘吉　明治四四、三、六
同高濱村大字高濱三七　井上　茂次　四三、九、七
同小坂村大字東野牧七　佐藤竹次郎　三二、四、三〇
同高田村大字下高田二四四　神部三代吉　三〇、一二、三
同新屋村大字白倉一一　野中　喜平　三一、一二、一
同富岡町大字富岡甲一二六五　藤松　清　三二、一、一
同大字七日市八一一　松本　齊藤　倉藏　三〇、一二五
同小幡町大字國峯一、九一二　齊藤　倉藏　三〇、一二五
同額部村大字野上七七　飯塚益三郎　三〇、五、七
同小野村大字上石一、金井丑五郎　三四、五、二八
同平井村大字白石一一〇　高橋市次郎　三〇、三一〇
同小野村大字上石一、金井　讓治　三九、三、一一
同新町二二九七　馬場　伴藏　大正二、一、一三
同吉井町大字吉井川一二四　松井　文藏　二、四、一三
北甘樂郡青倉村大字青倉一八九　土谷　都夫　明治四二、一〇、一〇
同大字宮室二七　佐藤袈裟五郎　四四、一、二八
同沙羅町大字菅原一、吉岡　儀雄　四二、七、五
同一ノ宮町大字宮崎七　富永友次郎　大正二、四、一二
同富岡町大字七日市四五　甲田袈裟次　明治四五、二、五
同大字富岡一〇七　東　茂　四〇、三、二八
同大字七日市四五　甲田榮太郎　四三、七、二三
同尾澤村大字上尾一、市川袋三郎　四四、二、五
同小野村大字下高尾五六五　佐藤　渡　四三、一〇、二四
同西牧村大字西野牧甲一四二　佐藤才十郎　四〇、四、二三
同高濱村大字高濱一三六　矢野間吉一　大正二、三、二三
同月形村大字六車一三九　石井理三郎　明治四一、五、二
同下仁田町大字下仁田二六五　勝山長次郎　四一、七、一
同一九八　鈴木信太郎　四二、八、二三
同二五〇　近田　精吉　四五、三、二六
同大字川井一六三　佐藤　八郎　大正元、一〇、六
同小幡村大字善慶寺五二　加藤　勘吉　明治四四、三、六
同高濱村大字高濱三七　井上　茂次　四三、九、七
同小坂村大字東野牧七　佐藤竹次郎　三二、四、三〇
同高田村大字下高田二四四　神部三代吉　三〇、一二、三
同新屋村大字白倉一一　野中　喜平　三一、一二、一
同富岡町大字富岡甲一二六五　藤松　清　三二、一、一
同大字七日市八一一　松本　齊藤　倉藏　三〇、一二五
同小幡町大字國峯一、九一二　齊藤　倉藏　三〇、一二五
同額部村大字野上七七　飯塚益三郎　三〇、五、七
同小野村大字上後閑一四四七　金井丑五郎　三四、五、二八
同平井村大字白石一一〇　高橋市次郎　三〇、三一〇
同小野村大字上石一、金井　讓治　三九、三、一一
同新町二二九七　馬場　伴藏　大正二、一、一三
同吉井町大字吉井川一二四　松井　文藏　二、四、一三
北甘樂郡青倉村大字青倉一八九　土谷　都夫　明治四二、一〇、一〇
同大字宮室二七　佐藤袈裟五郎　四四、一、二八
同沙羅町大字菅原一、吉岡　儀雄　四二、七、五
同一ノ宮町大字宮崎七　富永友次郎　大正二、四、一二
同富岡町大字七日市四五　甲田袈裟次　明治四五、二、五
同大字富岡一〇七　東　茂　四〇、三、二八
同大字七日市四五　甲田榮太郎　四三、七、二三
同尾澤村大字上尾一、市川袋三郎　四四、二、五
同小野村大字下高尾五六五　佐藤　渡　四三、一〇、二四
同西牧村大字西野牧甲一四二　佐藤才十郎　四〇、四、二三
同高濱村大字高濱一三六　矢野間吉一　大正二、三、二三
同月形村大字六車一三九　石井理三郎　明治四一、五、二
同下仁田町大字下仁田二六五　勝山長次郎　四一、七、一
同一九八　鈴木信太郎　四二、八、二三
同二五〇　近田　精吉　四五、三、二六
同大字川井一六三　佐藤　八郎　大正元、一〇、六
同小幡村大字善慶寺五二　加藤　勘吉　明治四四、三、六
同高濱村大字高濱三七　井上　茂次　四三、九、七
同小坂村大字東野牧七　佐藤竹次郎　三二、四、三〇
同高田村大字下高田二四四　神部三代吉　三〇、一二、三
同新屋村大字白倉一一　野中　喜平　三一、一二、一
同富岡町大字富岡甲一二六五　藤松　清　三二、一、一
同大字七日市八一一　松本　齊藤　倉藏　三〇、一二五
同小幡町大字國峯一、九一二　齊藤　倉藏　三〇、一二五
同額部村大字野上七七　飯塚益三郎　三〇、五、七

同吉田村大字南蛇井二一二　下山芳太郎　三三、九、一
同小野村大字上高尾七一　吉井　禮藏　三三、二、二
同額部村大字野上一九三　高橋　正美　三四、三、二
同岩平村大字岩崎五七　井上伊之吉　三四、三、一
同高瀨村大字高瀨六　大河原政五郎　三五、二、二
同鏑島町大字一九九ノ一　大竹　里治　三五、二、二
同馬山村大字馬山二八九一　荻原好太郎　三六、五、一
同吉田村大字南蛇井一九九　金井　政雄　三六、六、二
同額部村大字南後閤五〇　澤田　辰一　三七、一、二
同富岡町大字富岡一九五　前澤角太郎　三七、二、一
同西牧村大字本宿三九三一　廣澤　兼弘　三三、八、一
同小坂村大字東野牧九　小井土金造　三七、七、一
同一ノ宮町大字一ノ宮一〇　松川　秀吉　三八、五、二
雄氷郡八幡村大字鼻高甲六七九　岡田　常衛　四二、四、二
同安中町大字安中七九　木村清一郎　大正元、八、二
同三七五五　柴崎　茂　四四、一、一
同八八二　小金澤駒二郎　四〇、三、一
同一〇六　宮澤　政行　四一、九、一
同大字安中　金井　一男　四二、三、二
同原市町大字郷原二五九　松井　光次　四四、六、二
同東横野村大字下間仁田甲六　大塚保太郎　三三、六、一
同後閑村大字上後閑二六六〇　日部　茂　大正二、三、一
同總社村大字下總岡三一〇二　田崎福太郎　明治四〇、三、二五
同細野村大字上增田甲二五〇〇　齋藤　鶴吉　三〇、八、二四
同安中町大字安中八二九　春日井東二郎　三〇、二、二
同三三二三ノ一　吉本新太郎　三一、五、二
同松井田町大字新堀四ノ一　樋田　利吉　三一、七、一
同機部村大字西上磯部　松井友太郎　三四、一、一
同坂本町大字原四一　上原謙太郎　三四、一〇、一
同原市町大字鄉原二三七五　藤澤　拓造　三六、一二、一
同吉田村大字南蛇井二一二　下山芳太郎　三三、九、一
同小野村大字上高尾七一　吉井　禮藏　三三、二、二
同額部村大字野上一九三　高橋　正美　三四、三、二
同岩平村大字岩崎五七　井上伊之吉　三四、三、一
同高瀨村大字高瀨六　大河原政五郎　三五、二、二
同鏑島町大字一九九ノ一　大竹　里治　三五、二、二
同馬山村大字馬山二八九一　荻原好太郎　三六、五、一
同吉田村大字南蛇井一九九　金井　政雄　三六、六、二
同額部村大字南後閤五〇　澤田　辰一　三七、一、二
同富岡町大字富岡一九五　前澤角太郎　三七、二、一
同西牧村大字本宿三九三一　廣澤　兼弘　三三、八、一
同小坂村大字東野牧九　小井土金造　三七、七、一
同一ノ宮町大字一ノ宮一〇　松川　秀吉　三八、五、二
雄氷郡八幡村大字鼻高甲六七九　岡田　常衛　四二、四、二
同安中町大字安中七九　木村清一郎　大正元、八、二
同三七五五　柴崎　茂　四四、一、一
同八八二　小金澤駒二郎　四〇、三、一
同一〇六　宮澤　政行　四一、九、一
同大字安中　金井　一男　四二、三、二
同原市町大字郷原二三七五　松井　光次　四四、六、二
同東横野村大字下間仁田甲六　大塚保太郎　三三、六、一
同後閑村大字上後閑二六六〇　日部　茂　大正二、三、一
同總社村大字下總岡三一〇二　田崎福太郎　明治四〇、三、二五
同細野村大字上增田甲二五〇〇　齋藤　鶴吉　三〇、八、二四
同安中町大字安中八二九　春日井東二郎　三〇、二、二
同三三二三ノ一　吉本新太郎　三一、五、二
同松井田町大字新堀四ノ一　樋田　利吉　三一、七、一
同機部村大字西上磯部　松井友太郎　三四、一、一
同坂本町大字原四一　上原謙太郎　三四、一〇、一
同原市町大字鄉原二三七五　藤澤　拓造　三六、一二、一

同後閑村大字上後閑二　翟堀　二郎　三六、一二、四
同大字中後閑　伊藤源太郎　三八、九、三
同九十九村大字下增田一七三三　藤本　梅吉　三九、八、一六
同原市町大字原市三一　小林隆太郎　三三、九、九
同岩野谷村大字岩井六二　中島　登　大正二、一二、九
同白井町大字横川四五　關　正三　二、三、二
同板鼻町二四三　寺口　庄七　二、五、一〇
同安中町大字安中二、八八一　林　元一　明治三〇、四、三
吾妻郡原町大字川戶九二六　清水　清三　四一、九、一〇
同澤田村大字山田一、九六四　柳田歌之助　四一、二、三
同額總村大字大笹三四　佐藤專太郎　四一、二、六
同一五二　同大字三原一〇八九　同岩島村大字三島二、七五〇　小林　正雄　三九、七、九
同西牧村大字下高尾五六五　佐藤才十郎　四〇、四、二三
同高山村大字中山一、星野　繼治　三二、九、三
同額總村大字田代五三　森田　盛一　三一、五、五
同長野原町大字横壁三　金子　健治　三一、八、三
同原町大字原町六一ノ二　新井新太郎　三三、一〇、七
同額總村大字千俣一、黑岩貞三郎　三三、三、九
同岩島村大字松谷六三　雨宮　秋藏　三四、九、八
同名久田村大字横尾一二〇　高橋　丑丸　三四、八、二
同大字赤坂村二一三　綿貫　寅吉　三五、一、三一
同原町大字原町三一　樋口　又一　三六、九、一六
同長野原町大字長野原　宮崎良太郎　三三、一、二五
同中之條町大字中之條　安藤　忠夫　三七、九、四
同草津町大字草津甲三　小林　七郎　三七、七、四
同岩島村大字厚田一、中野　太郎　三八、二、三
同大字七日市八一一　松本　清　三三、一二四
同小幡町大字國峯一、九一二　齊藤　倉藏　三〇、一二五
同額部村大字野上七七　飯塚益三郎　三〇、五、七
同小野村大字上後閑二　翟堀　二郎　三六、一二、四
同大字中後閑　伊藤源太郎　三八、九、三
同九十九村大字下增田一七三三　藤本　梅吉　三九、八、一六
同原市町大字原市三一　小林隆太郎　三三、九、九
同岩野谷村大字岩井六二　中島　登　大正二、一二、九
同白井町大字横川四五　關　正三　二、三、二
同板鼻町二四三　寺口　庄七　二、五、一〇
同安中町大字安中二、八八一　林　元一　明治三〇、四、三
吾妻郡原町大字川戶九二六　清水　清三　四一、九、一〇
同澤田村大字山田一、九六四　柳田歌之助　四一、二、三
同額總村大字大笹三四　佐藤專太郎　四一、二、六
同一五二　同大字三原一〇八九　同岩島村大字三島二、七五〇　小林　正雄　三九、七、九
同西牧村大字下高尾五六五　佐藤才十郎　四〇、四、二三
同高山村大字中山一、星野　繼治　三二、九、三
同額總村大字田代五三　森田　盛一　三一、五、五
同長野原町大字横壁三　金子　健治　三一、八、三
同原町大字原町六一ノ二　新井新太郎　三三、一〇、七
同額總村大字千俣一、黑岩貞三郎　三三、三、九
同岩島村大字松谷六三　雨宮　秋藏　三四、九、八
同名久田村大字横尾一二〇　高橋　丑丸　三四、八、二
同大字赤坂村二一三　綿貫　寅吉　三五、一、三一
同原町大字原町三一　樋口　又一　三六、九、一六
同長野原町大字長野原　宮崎良太郎　三三、一、二五
同中之條町大字中之條　安藤　忠夫　三七、九、四
同草津町大字草津甲三　小林　七郎　三七、七、四
同岩島村大字厚田一、中野　太郎　三八、二、三
同大字七日市八一一　松本　清　三三、一二四
同小幡町大字國峯一、九一二　齊藤　倉藏　三〇、一二五
同額部村大字野上七七　飯塚益三郎　三〇、五、七

利根郡古馬牧村大字上牧田一二六二一　上杉　主稅　四五、五、九
同池田村大字岡谷五〇　原　清次　四二、一、九
同桃野村大字上津七八　高橋　末男　大正元、一二、九
同片品村大字越本五四　入澤　靜雄　明治四二、三二一
同大字須賀川一五七　粟原　吉松　四三、一二、九
同沼田町大字沼田甲一〇六七　塚原　正治　四五、七、九
同片品村大字越本一八　笠原粲治郎　四二、一〇、七
同川田村大字下川田六五七　秋山　輝雄　三七、九、一
同利南村大字沼須六六八　五位野吉男　大正二、一二、五
同東村大字平川二六　松島　善規　明治四五、六、二三
同沼田町大字沼田甲八一二六　飯塚德太郎　三〇、五、五
同古馬牧村大字眞庭二〇　内山房二郎　三二、三、二七
同利南村大字羽場一一　中村　源松　三一、一〇、二五
同水上村大字粟澤二九　眞庭　孝貞　三一、一二、一七
同東村大字平川八六　井上新太郎　三二、四、一三
同片品村大字花咲二九五　金子　岩藏　三三、七、二三
同新治村大字須川番外三　奥津　幸作　三四、一〇、二五
同水上村大字湯宿曾　高儀文次郎　三五、六、六
同桃野村大字月夜野　高橋　福藏　三五、八、二〇
同東村大字大揚四七九　谷　德太郎　三五、七、一〇
同片品村大字戶倉　萩原　三郎　三五、三、一〇
同新治村大字永井五二　高橋　初市　三五、一一、一〇
同沼田町大字沼田一〇二　池田　金造　三五、六、一
同利南村大字戶鹿野四　吉野彌四郎　三五、六、二
同久呂保村大字川額　堤　重勝　三七、一二、七
同沼田町大字沼田二　小笠原松一郎　三七、一二、七
同桃野村大字石倉七二　石坂角兵衛　三九、一、一〇
同水上村大字鹿野澤一　荒木　宗一　三八、一二、二八
佐波郡伊勢崎町五五六　佐藤　力　大正元、八、三

昭和九年一月三十一日　水曜日
官報
21212
本文

昭和21年2月2日

帝國議會

○貴族院

◎會議

國務大臣ノ演說ニ關スル件（第五日）

昨三十日ノ議事續行左ノ如シ

右件ハ之ヲ總テ延會ス

◎議事日程

昭和九年一月三十一日（水曜日）

午前十時開議

一　國務大臣ノ演說ニ關スル件（第六日）

○衆議院

◎會議

昨三十日ノ本會議議事經過左ノ如シ

午後一時三十七分開議

一　足尾銅山鑛毒ニ關スル質問（衆原參三郎君提出）

一　右質問ハ提出者之ヲ撤回ス

一　大臣演說ニ關スル質問（高橋清太

廣　告

◉檢定教科用圖書

檢定年月日	目的ノ學校竝學科ノ種類	圖書名	卷冊	發行年月日	定價
昭和九、一、一〇	中學校實業學校外國語科	Students' Side Readers	一冊	昭和八、九、四	一、二〇
右署名	櫻井衣				
九、一、三	高等女學校	裁縫科 新撰裁縫教科書	五	九、一、一〇	一、二五
右署名	大妻技藝學校大妻高等女學校裁縫研究會			修正再版	三、四五各
以上發行者	東京市神田區神保町一丁目一番地 株式會社三省堂				一、三五
同	師範學校 理科	學校新制化學	一	九、一、二八	一、三五
右署名	大幸勇吉			訂正再版	一、三五
右發行者	東京市神田區神保町一丁目三番地 合資會社冨山房				一、七五
同	師範學校中學校 英語科外國語科	Herald English Composition Course	二	九、一、一五 同	各 五〇
右署名	ヘラルド社編輯部				
右發行者	東京市麹町區內幸町一丁目四番地 株式會社中等教科書出版協會				
同	師範學校高等女學校中學校 歷史科	東洋歷史地圖 改新版	一	九、一、一六訂正	六六
右署名	實業學校 帝國書院編輯部				二、一〇
同	實業學校 地理科	地理通論（八年版）	一	九、一、一四 同	八〇
右署名	地理教授同志會				三、一〇
以上發行者	東京市神田區仲猿樂町三十番地 株式會社帝國書院				四、一〇
同	中學校實業學校外國語科	Progressive Exercises in English Composition	三	九、一、一三訂正再版	各 五〇
右署名	鈴木謙吉鈴木得一				六、一〇
右發行者	東京市日本橋區本町四丁目十一番地 林甲子太郎				七、一〇
同	實業學校、物理及化學科	推實業化學教科書	一	九、一、一〇訂正	一、三〇
右署名	者 加藤與五郎、永海佐一郎				
右發行者	東京市神田區錦町一丁目十番地 株式會社明治書院				
昭和九年一月				文部省	

◉昭和九年度電氣事業主任技術者資格檢定試驗

電氣事業主任技術者資格檢定規則ニ依ル定期檢定試驗ヲ左ノ通施行ス志願者ハ同規則第十條及第十一條ニ依リ申請書履歷書ヲ調製シ戶籍抄本及寫眞ヲ添ヘ遞信省ニ差出スヘシ

昭和九年一月　遞信省

申請書受付期間

本年第一次試驗ヨリ受驗スル者　（自二月五日至同二十六日）

昭和七年以降第一次試驗ニ合格シ本年同種別ノ第二次試驗ヲ受驗スル者　（自五月十四日至六月二日）

試驗施行種別、第一種、第二種、第三種

種別	試驗科目	時間	試驗地
第三種	一般電氣學竝ニ其應用ニ關スルモノ	四月五日自午前九時至同十一時三十分	東京
第一種及第二種	同	四月六日自午前九時至同十一時三十分	東京

第一次試驗場所

試驗地	場所（番地）
東京	慶應義塾（芝區三田二丁目）
大阪	私立關西商工學校（西淀川區大仁本町）
熊本	高等工業學校
名古屋	高等工業學校
鹿島	高等學校
仙臺	高等工業學校
札幌	北海道帝國大學水產專門部
京城	朝鮮總督府遞信局遞信事員養成所
豐原	樺太廳內務部遞信課
大連	關東廳遞信局遞信講習所

第一次試驗合格者氏名竝ニ第二次試驗ニ關スル事項ハ五月中旬官報ニ公告ノ豫定

申請書類調製竝ニ差出ニ關スル注意

一、申請書ニ貼付スル收入印紙ニハ消印スヘカラス

二、申請書ニ記載スル氏名ニハ讀ミ假名ヲ附スヘシ

三、申請書ニ記載スル檢定ノ種別及受驗地名（東京、大阪等ハ朱書スヘシ）

四、寫眞ハ六箇月前以內ニ撮影シタル自己單獨（全身手札形）ノモノヲ用ヒ裏紙ニ貼付シ裏面ニハ氏名、撮影年月、受驗地名及檢定ノ種別ヲ明記シ必ス申請書ト同封スヘシ

五、戶籍抄本ハ六箇月前以內ニ本人ノ用フヘシ

六、申請書類ハ一括シテ簡易書留郵便ニテ差出スヘシ

七、申請書ヲ郵便ニテ差出ストキハ書留トシ且受驗票送附用トシテ自己ノ住所氏名ヲ表記シタル封筒ニ郵便切手（參錢）ヲ貼付シテ同封スヘシ

八、申請書ハ遞信省電氣局技術課ニ差出スヘシ

九、申請書受付時間ハ執務時間內トス

一〇、申請書受付理ハ受驗票ヲ交付ス

受驗手續其他ニ關スル注意

一、第一次試驗ハ同一年度內ニ於テ一人一種別ノ外受驗スルコトヲ得ス

二、本年第二次試驗ニ合格シタル者ハ別ニ申請書ヲ提出スルコトナクシテ本年ノ第二次試驗ニ應スルコトヲ得

三、申請シタル受驗地ハ當該年度內ニ於テ變更スルコトヲ得ス

四、受驗票ハ每日試驗場ニ携帶スヘシ受驗票ナキ者ハ入場ヲ許サス

五、受驗票ハ紛失セサル樣保存スヘシ

六、試驗ニ關スル照會又ハ屆出ハ必ス受驗地名及受驗番號ヲ記載シ遞信省電氣局技術課宛ニ差出スヘシ（回答ヲ要スルモノハ參錢切手封入ノコト）

七、申請者族籍氏名ヲ變更シタルトキハ戶籍抄本ヲ添附シ其旨ヲ屆出ツヘシ

八、申請者現住所ヲ變更シタルトキハ直ニ屆出ツヘシ

◉電氣事業主任技術者資格第一種銓衡檢定合格者

電氣事業主任技術者資格檢定規則第七條第一項ニ依ル詮衡檢定ニ依リ本月二十七日合格證書ヲ附與セシ者左ノ如シ

昭和九年一月

岡田	木野 一郎	遞信 省	
萬野	德雄 宮崎 敏郎	內藤 孟	
以上東京帝國大學工學部昨八年三月卒業			
聚屋	潔 大河原 旭		
松本傳之進	小林六四郎		
以上東京工業大學昭和七年三月卒業			
佐野	保		
以上東京工業大學昨八年三月卒業			
沖	豐三 早川 源藏	山崎 都男	
以上早稻田大學理工學部昨八年三月卒業			
荒井	武夫 田中 太積		
以上早稻田大學理工學部昨八年七月卒業			
梅澤	次郎 小川 圭二	小川 富雄	
幸村	近 磯夫	佐々木菊藏	
佐々木直次	早乙女時雄	品川 忠利	
白石	安之 高屋 長武	中野 久雄	
藤井	章 金正	山口忠太郎	
山本	勝造 吉田 健雄		
以上日本大學工學部昨八年三月卒業			
伊藤眞太郎	上田 正義 田中小三郎		
二宮香三郎	貞雄		
以上大阪帝國大學工學部昨八年四月卒業			
佐藤	貞雄		
以上北海道帝國大學工學部昨八年三月卒業			

◉營業禁止

東京市荒川區尾久町五丁目六百八十九番地　古物商　石井源太郎

右ニ對シ昨八年十一月二十四日其營業ヲ禁止セリ

昭和九年一月　警視廳

◉公債償還

本縣神明國道改修事業公債中本月末日償還組ニ對シ抽籤ヲ行ヒタルニ左ノ證券當籤シタルヲ以テ本月三十一日ヨリ取扱銀行ニ於テ證券ト引換ニ元金ヲ償還ス

昭和九年一月　兵庫縣

記號、番面別、當籤番號

記號	五千圓券	二千圓券	一千圓券	五百圓券	百圓券	五十圓券	十圓券	五圓券	二圓券	一圓券
ハ號	100	135	147	158	181	194	202	206	208	209
	213	216								
千圓券	37	72	85	91	112	118	124	137	178	227
	247	286	296	306	327	373	385	399	415	432
	455	527	531	568	587	588	590	596	610	691
	699	701	703	728	744	746	747	784	796	838
	846	855	866	862	884	898	967	979	997	998
	1028									
五百圓券	2	19								
百圓券	11	25	44	51	52	55	56	64	90	94

半號

壹萬圓券	9
五千圓券	2 3 21
千圓券	10 13
五百圓券	2 3
百圓券	8 29 39 42

取扱銀行　本縣金庫、同支金庫、株式會社三十八銀行

◉町役場位置變更

遠賀郡鷹屋町ハ其役場位置ヲ本月十三日大字鷹屋二千五十八番地ニ變更セリ

昭和九年一月　福岡縣

◉所屬未定地編入

左記所屬未定地ヲ天草郡二江村字須ノ脇ノ區域ニ編入シ本月二十七日ヨリ施行セリ

昭和九年一月　熊本縣

天草郡二江村字須ノ脇一四一五番地先水面埋立面積　三千九坪一合

◉購買入札公告中訂正

本月二十六日本欄內掲載當廠購買入札公告中入札竝開札ノ日時ヲ「二月六日」ヲ「二月八日」ニ變更ス

昭和九年一月三十一日　陸軍造兵廠

◉賣拂入札

一、入札物件

東京市赤坂區青山南町一丁目五五ノ三六宅地　面積四十六坪

二、入札心得書及契約條項ヲ示ス場所　當局

三、入札及開札日時　二月十日自午前十時至同十一時入札、入札時間締切後即時開札

四、入札保證金　入札見積價格ノ百分ノ五以上（圓未滿切上ノ）

昭和九年一月三十一日　東京税務監督局

◉工業組合登記

●秩父織物工業組合更正

一組合員强矢常太郎ノ氏名ハ錯誤ニ付强谷常太郎ト更正ス

一組合員町田久ノ住所ハ錯誤ニ付左ノ如ク更正ス

秩父郡原谷村大字黑谷八百二十二番地ノ一

一理事强矢常太郎ノ氏名ハ錯誤ニ付强谷常太郎ト更正ス

一理事町田久ノ住所ハ錯誤ニ付左ノ如ク更正ス

秩父郡原谷村大字黑谷八百二十二番地ノ一

昭和八年十二月二十六日登記　秩父區裁判所

●設立

名稱　東海四縣製氷工業組合聯合會

事務所　名古屋市中瓦町八番地

目的　所屬組合ノ共同ノ利益ヲ增進シ製氷工業ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

地區　愛知縣靜岡縣岐阜縣三重縣

設立認可ノ年月日　昭和八年十一月二十五日

出資ノ總口數　十二口

拂込出資ノ總額　金一千五百圓

出資一口ノ金額　金五百圓

出資拂込方法　第一回ノ拂込ハ一口ニ付金一百二十五圓以上トス第二回以後ノ拂込ハ組合ノ必要ト認メタル金額ヲ以テ之ヲ定ム

理事ノ氏名住所　津市入江町九百六十三番地　植山外五郎

山路神次郎ノ一　四日市市百五千七百四十九番地　德竹　惣市

監事ノ氏名住所　靜岡縣濱名郡村櫛村三千六百五番地　早瀨　清重

岩崎　嘉六

中島市次郎　同所三千二百十三番地

北木源太郎　同所三千九十四番地

井上金之助　同所百四十三番地

鈴木榮次郎　同所千八百八十四番地

監事ノ氏名住所　中島　彌司　同所千七百八十八番地

加谷信一郎　同所三千百五十二番地

岡部五郎吉　同所三千九十三番地

寺本　清八　同所三千百七十四番地

鈴木　春吉　同所三千百二十三番地

區域　東京府北多摩郡立川町

右昭和八年十二月二十六日登記　八王子區裁判所砂川出張所

●有限責任出ノ谷信用販賣購買利用組合變更

昭和八年六月二日認可ニ因リ名稱組織目的及出資拂込ノ方法ヲ左ノ通リ變更ス

名稱　有限責任出ノ谷信用販賣購買利用組合

組織　一、組合員ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト

目的　二、保證責任出ノ谷信用販賣購買利用組合

◉產業組合登記

●產業組合（設立）

一、名稱　有限責任出川信用組合

一、組織　有限責任

一、事務所　東京府北多摩郡立川町千七百六十一番地

一、目的　組合員ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト　二、組合員ニ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一ノ家ニ在ル者公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ貯金ヲ取扱フコト

一、設立許可ノ年月日　昭和五年二月十二日

一、出資一口ノ金額　金五十圓

一、出資拂込方法　出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金五圓以上トス第二回以後ノ出資拂込ハ組當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外出資一口毎ニ左ノ各號ノ一ニ依リ拂込ムモノトス

一、每月一圓以上宛拂込ムコト　二、每年六月及九月金六圓以上宛拂込ムコト

一、理事ノ氏名住所

小川　孝喜　東京府北多摩郡立川町千六百三番地

岩崎　清重　同所三千百二十番地

石川　嘉六　同所三千二百十三番地

中島市次郎　同所千八百二十二番地

北木源太郎　同所三千九十四番地

井上金之助　同所百四十三番地

鈴木榮次郎　同所千八百十四番地

一、監事ノ氏名住所

中島　彌司　同所千七百八十八番地

加谷信一郎　同所三千百五十二番地

岡部五郎吉　同所三千九十三番地

寺本　清八　同所三千百七十四番地

鈴木　春吉　同所三千百二十三番地

一、區域　東京府北多摩郡立川町

右昭和八年十二月二十六日登記

●有限責任秋田縣海外移住組合（變更）

昭和八年十一月二十四日　理事松岡四郎辭任ス

右昭和八年十二月四日登記

●有限責任秋田縣海外移住組合（變更）

一、昭和八年十一月二十六日左ノ者理事ニ就任ス

相野田鶴平　秋田縣秋田市保戶野中町三十三番地

齊藤　榮郎　秋田縣秋田市鷹匠町五十番地ノ二

右昭和八年十二月二十八日登記　秋田區裁判所

●有限責任秋田縣海外移住組合（變更）

一、昭和八年十一月二十六日左ノ者理事ニ就任ス

相野田鶴平　秋田縣秋田市保戶野中町三十三番地

齊藤　榮郎　秋田縣秋田市鷹匠町五十番地ノ二

右昭和八年十二月二十八日登記　秋田區裁判所

官報 2112 2123 号

●有限責任生糸販賣購買利用組合埼玉社　三澤組
變更
一昭和八年十一月二十七日　名稱組織ヲ左ノ如ク
變更ス
名稱　保證責任生糸販賣購買利用組合埼玉社
組織　保證責任
三澤組

●有限責任三澤村信用購買組合變更
一昭和八年九月八日名稱組織ヲ左ノ如ク　變更ス
名稱　保證責任三澤村信用購買組合
組織　保證責任
昭和八年十二月二十八日登記　秩父區裁判所

●有限責任東金瓦斯購買利用組合變更
一理事淺沼久次郎ハ昭和八年十一月十二日　死亡ス
昭和八年十二月二十九日登記
八日市場區裁判所東金出張所

●有限責任田彦信用購買販賣購買組合解散
一茨城縣知事ノ命ニ因リ　昭和八年十二月二十
七日解散ス
昭和八年十二月二十八日登記
水戸區裁判所賀谷出張所

●有限責任購買販賣利用組合石岡町外六ヶ村　農
業倉庫變更
一昭和八年十二月二十三日　總會ノ決議ニ因リ左
ノ如ク變更ス
名稱　保證責任購買販賣利用組合石岡町外六
箇村農業倉庫
組織　保證責任

●有限責任園部信用購買組合解散
一昭和八年十二月二十七日總會ノ決議ニ因リ解
散ス
昭和八年十二月二十八日登記　龍ケ崎區裁判所

●有限責任非出老澤信用購買販賣組合解散
一昭和八年十二月二十七日　茨城縣知事ノ命ニ
因リ解散ス

●有限責任新治村外三ヶ村販賣利用組合
一理事監事全員任期滿了ニ付　昭和八年二月十一
日理事會ニ於テ左ノ者再選同年三月十一日左ノ者新任ス
理事　櫻井　貞男　眞壁郡新治村門井一〇五
同　大林定一郎　同村三郷一三番地
同　豊田　安次　同村門井二〇三番地ノ二
同　萩原金一郎　同郡古里村大島八一番地
同　佐藤省一郎　同郡古里村金敷三七三番
地
監事　岡野富一郎　眞壁郡新治村三郷一八番地
同　潮田定一郎　同郡古里村八鯖七九番地
ノ一
同　塚田喜一郎　同郡大國村大國玉二六九
四ノ一番地
同　小栗　幹一　同郡小栗村小栗六三番地

●有限責任宇都宮購買組合變更
一理事川島敬治ハ昭和八年十一月二十六日　死亡ス
昭和八年十二月二十九日登記　下妻區裁判所下館出張所

●有限責任鬼怒川信用購買販賣組合變更
一監事菊地清兵衛ハ同年同月二十九日辭任ス
昭和八年十二月二十九日登記　宇都宮區裁判所

●保證責任葛生町信用組合變更
一監事廣田ロクハ昭和八年十一月二十日　辭任ス
昭和八年十二月二十八日登記　足利區裁判所葛生出張所

●保證責任白澤信用購買販賣利用組合變更
一監事増田惣二ハ昭和八年十二月十日辭任ス
昭和八年十二月二十八日登記　沼田區裁判所

●有限責任豐岡信用販賣組合變更
一理事小池鶴之治ハ昭和八年十二月二十二日　死
亡ス
昭和八年十二月二十八日登記　高崎區裁判所

●設立
名稱保證責任醫業利用組合更生病院　組織保證
責任　事務所靜岡市南瀨町四丁目二番地　目的
組合員ヲシテ經濟ニ必要ナル保健衛生及醫療ニ必
要ナル設備ヲ利用セシムルコト　設立許可ノ年
月日昭和八年十月三十日　出資一口ノ金額金十
圓也　區域靜岡縣靜岡市清水市安倍郡庵原郡
出資拂込ノ方法一出資第一回ノ拂込金額ハ一口
ニ付一圓以上トシ二第一回後ノ出資拂込ハ剩餘
金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外出資一口毎ニ毎月
一圓以上拂込ムモノトス　理事ノ氏名住所　小川
隆三清水市辻二五八番地　水上三一庵原郡高部村鳥坂二八番地渡邊
準清水市下清水町七一八番地　鈴木巖一郎安倍郡
美和村中ノ郷二四九番地　矢石芳朗同郡有度村上
原一九九番地　井上道一郎同郡千代田村岩ノ谷七
八六番地　吉野信夫靜岡市傳馬町一五一番地　池野
長助同市下石町一丁目十番地　監事ノ氏名住所
石野清吉安倍郡久能村根古屋六九番地　石上庄太
郎靜岡市中島九二一番地　望月和一郎清水市清水
受新田二一一番地　大村吉平安倍郡大谷村一五一
番地

●保證責任組合信用購買販賣利用組合變更
昭和八年十二月十九日登記　靜岡區裁判所

●保證責任富士村信用販賣購買組合變更
昭和八年十二月二十一日　理事林健次郎ハ死亡ス
右昭和八年十二月二十九日登記　吉原區裁判所

●保證責任靜岡縣信用組合聯合會變更
理事山本謙治ハ昭和八年十二月二十日辭任ス
●保證責任靜岡縣購買販賣利用組合聯合會變更
理事山本謙治ハ昭和八年十二月二十日辭任ス
右昭和八年十二月二十八日登記
下田區裁判所

●保證責任靜岡縣信用組合聯合會變更
理事山本謙治ハ昭和八年十二月二十日辭任ス
●保證責任靜岡縣購買販賣利用組合聯合會變更
理事山本謙治ハ昭和八年十二月二十日辭任ス
右昭和八年十二月二十八日登記
濱松區裁判所

●有限責任出香村信用組合變更
一理事三輪重助ハ昭和八年十二月二十一日　辭任
ス
右昭和八年十二月二十八日登記
濱松區裁判所二俣出張所

●有限責任出香村信用組合變更
一理事栗田順次山名酒造藏ハ昭和八年十二月十七
日　辭任ス
右昭和八年十二月二十八日登記
濱松區裁判所二俣出張所

●有限責任天竜信用組合變更
一理事三輪重助ハ昭和八年十二月二十一日　辭任
ス
右昭和八年十二月二十八日登記
濱松區裁判所山香出張所

●保證責任天方村信用販賣購買利用組合更正
一昭和八年十二月十日錯誤發見ニ因リ　理事小澤
由太郎ノ住所番ヲ　周智郡天方村大鳥居二十番
右昭和八年十二月二十七日登記

●保證責任田能信用販賣購買利用組合變更　一
理事山下吉ハ昭和八年十二月二十五日　辭任ス
右昭和八年十二月二十九日登記
掛川區裁判所森町出張所

◎商業登記

●鐘淵紡績株式會社變更（支店）
一取締役多和田眞太郎ハ昭和八年十二月十五日
辭任ス
昭和八年十二月二十八日登記

●合資會社トミヤ百貨店解散
一昭和八年十二月二十一日　總社員ノ同意ニ依リ
解散ス

●松森兄弟合名會社變更
一昭和八年十二月二十五日　目的ヲ左ノ如ク變更
ス
一青果ノ仲買ニ濱物ノ販賣　一前項ニ附隨スル
業務
同日社員松森昇與ハ其住所ヲ神戸市灘區大石
字八番十四番地ニ移轉ス

●商號變更
一商號　エヽビヂー　エンド　コムパニー
一營業ノ種類　官廳ノ許可要セサル一般商品
一營業ノ種類ノ入仲立業
一本店　神戸市葺合區八幡通三丁目一番屋敷
一商號使用者ノ氏名住所　英國臣民　エルスタ
ムジ　神戸市葺合區八幡通三丁目一番屋敷

●株式會社石川商店變更
一取締役石川やくハ昭和八年十二月二十二日辭
任ス
同日取締役吉井作治、高田源治郎山上新太郎石
川とよハ各重任ス
同日左ノ者取締役ニ就任ス
石川やく　神戸市兵庫區鳥棚町十九番地
一監査役井上政吉ハ木才二郎ハ同日各重任ス

●合資會社設立
一商號　神戸演藝會社
一本店　神戸湊東區荒田町二丁目百八十二番屋
敷
一設立ノ年月日　昭和八年十二月二十五日
一社員ノ氏名住所出資及責任　金三万圓　阪口幸太郎
荒田町二丁目百八十二番屋敷

●合資會社設立
一商號　エヽビヂー　エンド　コムパニー
一營業ノ種類　官廳ノ許可要セサル一般商品
一營業所　神戸市葺合區八幡通三丁目一番屋敷
一商號使用者ノ氏名住所　英國臣民　エルスタ
ムジ　神戸市葺合區八幡通三丁目一番屋敷

●株式會社山陽工作所變更
一取締役藤谷友太郎ハ昭和八年十二月十八日住
所ヲ神戸市林田區四番町六丁目八番地ニ移轉
ス
一取締役ニシテ會社ヲ代表スヘキ取締役藤谷友
太郎及取締役大辻秋太郎ハ同日退任ス
昭和八年十二月二十一日重任ス
一左ノ者同日取締役ニ就任ス
錦谷荒太郎　兵庫縣津名郡志筑町　一千七百十
五番地

●三都合資會社變更及支店廢止（支店）
一取締役和田恒彦ハ昭和八年十二月十五日住所
ヲ神戸市湊區梅元町百十四番地ニ移轉ス
一取締役進藤信義ハ昭和八年十二月十六日住所
ヲ神戸市須磨區大手町七丁目二番地ヘ移轉ス
一取締役田三郎ハ昭和八年十二月十七日住所ヲ
神戸市須磨區大手町一丁目三番地ニ移轉ス

●商號變更
一商號　エヽビヂー　エンド　コムパニー
一營業ノ種類　官廳ノ許可要セサル一般商品
一營業所　神戸市葺合區八幡通三丁目一番屋敷
一商號使用者ノ氏名住所　英國臣民　エルスタ
ムジ　神戸市葺合區八幡通三丁目一番屋敷

●合資會社設立
一商號　神戸演藝會社
一本店　神戸湊東區荒田町二丁目百八十二番屋
敷
一設立ノ年月日　昭和八年十二月二十五日
一社員ノ氏名住所出資及責任　金三万圓　阪口幸太郎
荒田町二丁目百八十二番屋敷

●株式會社山陽工作所變更
一取締役藤谷友太郎ハ昭和八年十二月十八日住
所ヲ神戸市林田區四番町六丁目八番地ニ移轉
ス
一取締役ニシテ會社ヲ代表スヘキ取締役藤谷友
太郎及取締役大辻秋太郎ハ同日退任ス
昭和八年十二月二十一日重任ス
一左ノ者同日取締役ニ就任ス
錦谷荒太郎　兵庫縣津名郡志筑町　一千七百十
五番地

●支配人選任
一支配人ノ氏名住所　岩瀬卓三　大阪市天王寺
區勝山通三丁目二十八番地
一支配人ノ委任ノ範圍　株式會社　大阪市中河内郡布施町大字新喜多　三百八十二番地
昭和八年十二月二十七日登記　大阪區裁判所四條畷出張所

●乾合名會社變更
一昭和八年十一月三十日本店ヲ大連市山縣通百
九十三番地ヨリ當管內ニ移轉シタルニ依リ左ノ
登記ヲ爲ス
乾合名會社
本店　神戸市神戸區海岸通五番地
一目的　運送業
一設立年月日　大正元年十一月五日
一存立時期　設立ノ日ヨリ滿五十箇年
一社員ノ氏名住所及出資
金四万七千圓　乾新兵衛　神戸市神戸區北野
町四丁目十六番地ノ二
金三千圓　乾新治　同所
昭和八年十二月二十一日登記

●合名會社トミヤ百貨店解散
一昭和八年十二月二十一日　總社員ノ同意ニ依リ
解散ス

●松森兄弟合名會社變更
一昭和八年十二月二十五日　目的ヲ左ノ如ク變更
ス
一青果ノ仲買ニ濱物ノ販賣　一前項ニ附隨スル
業務
同日社員松森昇與ハ其住所ヲ神戸市灘區大石
字八番十四番地ニ移轉ス

●商號變更
一商號　エヽビヂー　エンド　コムパニー
一營業ノ種類　官廳ノ許可要セサル一般商品
一營業所　神戸市葺合區八幡通三丁目一番屋敷
一商號使用者ノ氏名住所　英國臣民　エルスタ
ムジ　神戸市葺合區八幡通三丁目一番屋敷

●株式會社石川商店變更
一取締役石川やくハ昭和八年十二月二十二日辭
任ス
同日取締役吉井作治、高田源治郎山上新太郎石
川とよハ各重任ス
同日左ノ者取締役ニ就任ス
石川やく　神戸市兵庫區鳥棚町十九番地
一監査役井上政吉ハ木才二郎ハ同日各重任ス

●加商株式會社變更（支店）
一監査役榊原康吉ハ昭和八年十二月二十一日重
任ス

●商號變更
一本店　神戸市神戸區中山手通二丁目二十九番
六十七番屋敷
一目的　石炭木炭コークス其他燃料一式ノ卸小
賣竝ニ之ニ附帶スル一切ノ業務
一設立年月日　昭和八年十二月二十五日
一社員ノ氏名住所出資及責任
金三千四百圓　無限　佐々木親逸　神戸市
灘區

●合資會社變更
一商號　合資會社佐々木商店
一本店　神戸市神戸區中山手通二丁目二十九番
六十七番屋敷
一目的　石炭木炭コークス其他燃料一式ノ卸小
賣竝ニ之ニ附帶スル一切ノ業務
一設立年月日　昭和八年十二月二十五日
一社員ノ氏名住所出資及責任
一無限責任社員　佐々木シゲノ　同所
佐々木宗一　同所
一存立時期　設立ノ日ヨリ滿二十箇年
昭和八年十二月二十七日登記　神戸區裁判所

●辰馬海上火災保險株式會社變更
一取締役永井又二郎ハ昭和八年十二月二十四日
佐所ヲ東京市中野區　昭和通一丁目二十三番地
ニ移轉ス

●合資會社設立
一商號　合資會社おきる
一本店　西宮市本町八十九番地
一目的　料理店業及精肉販賣業
一設立ノ年月日　昭和八年十一月二十三日
一代表社員ノ氏名　濱野信次
一社員ノ氏名住所及出資
金五千圓　無限　濱野信次　西宮市本町
八十九番地
金五千圓　有限　濱野茂兵衛　同所同番地
金五千圓　有限　濱野せい　同所同番地
一存立ノ時期　滿二十箇年
昭和八年十二月二十六日登記

官報 2122 第二千百二十二號

●株式會社日本勸業銀行（支店）社債發行
昭和八年十二月二十八日　勸業債券發行ヌタルニ付左記事項ヲ追加ス
貯支號ノ總額　金一百十七万圓
一社債ノ金額　金一万圓
一社債ノ利率　金一万五厘
一社債償還ノ方法及期限　償還抽籤ヲ執行シ以後毎年二回（一月七月）抽籤ヲ爲シ金三万圓以上ヲ其ノ翌月ニ償還シ昭和二十三年八月一日殘額全部ヲ償還ス但シ本資金ニ依ル貸付金返濟高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其ノ超過額モ同時ニ償還シ又本債券ノ抽籤期間中ニ於テ本資金ニ依ル貸付金ノ全部又ハ一部ノ返濟アリタルトキハ最近ノ元利支拂期ニ於テ該返濟額相當額ノ償還ヲ爲スモノトス尙預金部ノ承認アリタル場合ハ何時ニテモ買入消却ヲ爲スコトヲ得
一社債ニ付拂込ミタル金額　全額
昭和八年十二月三十日登記　高松區裁判所

●金山鹽田株式會社變更
昭和八年十二月二十二日　前川傳次林英夫ハ監査役ニ重任同日左ノ者監査役ニ就任
大浦一二　總歌郡金山村大字江房千七十七番地
右昭和八年十二月二十八日登記

●日本食鹽回漕株式會社變更（支店）
昭和八年十二月二十六日各株ニ付拂込ミタル株金額ヲ金五十圓ト變更ス
右昭和八年十二月三十日登記　丸龜區裁判所　坂出出張所

●四國水力電氣株式會社變更
取締役風間八左衛門ハ任期滿了ノ處昭和八年十二月二十三日定時株主總會ニ於テ再選セラレ同日重任ス
右昭和八年十二月三十日登記　丸龜區裁判所多度津出張所

●合資會社設立
商號　合資會社伊瀨商店　本店　香川縣三豐郡觀音寺町大字觀音寺第甲二千九百四十九番地
表具材料及其他物品販賣業
資本ノ總額　金一百万圓
各社員ノ引受ケタル出資ノ種類及價格竝ニ各社員ノ氏名住所
一金五十万圓　有限責任社員山崎利助
一無限責任社員山崎利助昭和八年十二月二十一日住所ヲ左ノ通リ變更ス
香川縣三豐郡觀音寺町大字觀音寺甲二千九百四十九番地
營業所ハ無限責任社員ノ住所地ニ同シ
支配人ヲ置カス
各社員ハ本資金ニ付拂込ミタル金額ヲ以テ計算ス
各社員ノ出資ノ目的物ノ價格ハ昭和八年十二月二十一日ノ時價ニ依リ評定シタル金額ヲ以テ計算ス
各社員ノ利益配當ノ割合ハ出資ノ割合ニ依ル
各社員ノ損失負擔ノ割合ハ出資ノ割合ニ依ル
各社員ノ持分ノ讓渡ハ他ノ社員ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス
本資金ノ計算ハ毎年一月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル
本資金ノ決算ハ毎年一月一日ニ於テ之ヲ爲ス
本資金ノ決算ニ依リ利益ヲ生シタルトキハ其ノ利益ヲ各社員ノ出資ノ割合ニ依リ配當ス
本資金ノ決算ニ依リ損失ヲ生シタルトキハ其ノ損失ヲ各社員ノ出資ノ割合ニ依リ負擔ス
本資金ノ決算ニ依リ生シタル利益ハ其ノ全部ヲ各社員ノ出資ノ割合ニ依リ配當ス
本資金ノ決算ニ依リ生シタル損失ハ其ノ全部

◎金融組合登記

◉鞍山金融組合變更

一昭和八年十二月一日　理事廣岸義雄ハ住所ヲ鞍山大正通二丁目七十七番地ニ移轉ス

一同日主タル準務所ヲ鞍山大正通二丁目七十七番地ニ移轉ス

右昭和八年十二月五日登記

在奉天日本帝國總領事館

◎準禁治産宣告取消

京都市下京區五條通高倉西入萬壽寺町百五十番地　安田　三郎

右ノ者ニ對シ大正七年六月二十八日當裁判所ノ宣告シタル準禁治産宣告ハ右安田三郎ノ申立ニ因リ昭和九年一月十七日之ヲ取消シタリ

昭和九年一月二十二日　京都區裁判所

◎公示催告

債權申出催告ノ公告

株式會社神戸海運集會所ハ昭和八年十二月二十三日臨時株主總會ノ決議ニ依リ解散シ目下清算中ナルニヨリ右會社ニ對シ債權ヲ有スルモノハ昭和九年三月二十日迄ニ清算人ニ對シ其請求ヲ申出ヲ爲スヘク右期間內ニ申出ヲナサヽルトキハ其債權ハ清算ヨリ除斥セラルヘシ

右民法第七十九條第一項第二項ニ依リ公告ス

昭和九年一月十一日

神戸市神戸區明石町三十二番地

株式會社神戸海運集會所清算事務所

解散公告

昭和九年一月十六日臨時株主總會ニ於テ當會社任意解散ノ決議致候ニ付債權ヲ有セラルヽ方ハ本年三月二十日迄ニ御申出相成度若シ期日迄ニ御申出無之時ハ清算ヨリ除却セラルヘク候間此段公告候也

昭和九年一月十八日

仙塲市鹽竈字十二番地

山三カーバイド株式會社清算事務所

◎行旅死亡人

本籍住所氏名不詳男年齢二十四五歳、身長四尺九寸位頭髮五分刈著衣半袖縞折襟衣（東京朝日新聞染抜）半襟ボソン高足袋草鞋所持後ニ一箇月位經過ニ見舞人者ナシ

右本年十月二十七日本村字タンネウタ十勝川ニ溺死シ居ルヲ發見假埋葬ヲ爲セリ心當リノ者ハ申出ツヘシ

昭和八年十二月二十七日

北海道十勝郡浦幌村役場

本籍住所氏名不詳推定年齢三十五六歳位ノ男　相貌身丈共五尺位而長色淺黑頭髮丸刈著裝木綿絣著物木綿縞牛袴

右本月二日東山區圓山公園内ニ於テ酩酊昏睡落ニ依リ凍死體發見火葬ニ付ス

昭和九年一月十八日　京都市東山區役所

本籍住所氏名不詳推定四十歳男、身長五尺四寸痩身面長色淺黑鼻隆耳小口大出齒著衣久留米單衣絣メリヤスシヤツ黑繻子ズボン

右本月五日鳥丙川端通荒神橋上ル暗渠内ニ於テ餓死ノ儘發見死後約五日間經過同日火葬ス

昭和九年一月十九日　京都市左京區役所

本籍住所氏名不詳推定年齢三十五六歳男身長五尺四寸痩形長顏頭髮長黑ノ支那服黒繻子ォ！バー中折帽子毛絲腹巻腰紐靴

右昨八年一月二十二日區内河原町鹽小路下ル安宿東屋ニ於テ死亡警察署ノ引渡ヲ受ケ火葬ス

昭和九年一月六日　京都市下京區役所

本籍住所氏名不詳六十五年位男身長五尺三寸中肉一見乞食風木綿縞袷黒厚司黒木綿長兒帶

右昨八年一月二十八日區内西九條比永城町十三ニ於テ病死警察署ノ引渡ヲ受ケ火葬ス

昭和九年一月六日　京都市下京區役所

自稱本籍京都府久世郡一口村北村末吉七十五歳位身長五尺一寸顏長痩形白髮頭木綿縞著物黒ノ首卷黒ノ前垂

右行旅病人トシテ救護中昨八年三月六日死亡火葬ス

昭和九年一月六日　京都市下京區役所

本籍住所氏名不詳六十二三歳位男身長五尺一寸痩形顏長半白髮頭木綿絣羽織黒繻子厚司黒首卷ヲ著ス

右昨八年三月十五日區内鹽小路通東洞院東入路上ニ死亡警察署ノ引渡ヲ受ケ火葬ス

昭和九年一月六日　京都市下京區役所

本籍住所氏名不詳六十位男身長五尺二寸痩形丸顏眉及頭髮薄茶色メリヤスシヤツ巻腹縞浴衣茶縞給古繻子紗厚司ヲ著ス

右昨八年三月十七日區内大宮通九條下ル　路上ニ於テ病死警察署ノ引渡ヲ受ケ火葬ス

昭和九年一月六日　京都市下京區役所

本籍住所氏名不詳推定年齢三十五六歳位ノ男　相貌身丈共五尺二寸位而長色淺黑頭髮丸刈著裝木綿絣著物木綿縞牛袴

右本月二日東山區圓山公園内ニ於テ酩酊昏睡落ニ依リ凍死體發見火葬ニ付ス

昭和九年一月七日　京都市東山區役所

本籍住所氏名不詳推定四十歳男、身長五尺四寸痩身面長色淺黑鼻隆耳小口大出齒著衣久留米單衣絣メリヤスシヤツ黑繻子ズボン

右本月五日鳥丙川端通荒神橋上ル暗渠内ニ於テ餓死ノ儘發見死後約五日間經過同日火葬ス

昭和九年一月七日　京都市東山區役所

本籍住所氏名不詳推定年齢三十五六歳男身長五尺四寸痩形長顏頭髮長黑ノ支那服黒繻子ォ！バー中折帽子毛絲腹巻腰紐靴

右昨八年一月二十二日區内河原町鹽小路下ル安宿東屋ニ於テ死亡警察署ノ引渡ヲ受ケ火葬ス

昭和九年一月六日　京都市下京區役所

本籍住所氏名不詳六十五年位男身長五尺三寸中肉一見乞食風木綿縞袷黒厚司黒木綿長兒帶

右昨八年一月二十八日區内西九條比永城町十三ニ於テ病死警察署ノ引渡ヲ受ケ火葬ス

昭和九年一月六日　京都市下京區役所

自稱本籍京都府久世郡一口村北村末吉七十五歳位身長五尺二寸痩形丸顏眉及頭髮薄茶色メリヤスシヤツ巻腹縞浴衣茶縞給古繻子紗厚司ヲ著ス

右昨八年三月十七日區内大宮通九條下ル　路上ニ於テ病死警察署ノ引渡ヲ受ケ火葬ス

昭和九年一月六日　京都市下京區役所

本籍住所氏名不詳推定年齢三十五六歳位男身長五尺二寸位色淺黑頭髮白毛混リ無精髭ヲ生ヤシ奥齒ハ上下共拔ケ僅ニ殘ルト存シ其他並ニ見ヒ分ケ難キ特徴ナシ

右本月二日午前十時頃東山區圓山公園内ニ於テ食糧著衣白メリヤスズボン白ネル縞給ノ襯衣黒木綿兵兒帶綿絲縞巻白足袋護謨裏草履中折帽子黒無尻外套

右本月九日當町羽鳥國道沿ニ於テ死亡シ居ルヲ發見假埋葬ニ付セリ心當リノ者ハ申出ツヘシ

昭和九年一月十三日　神奈川縣高座郡藤澤町役場

住所氏名不詳男推定年齢二十四五歳身丈約五尺一寸位顏面粉碎ニ依リ人相不明著衣縞銘仙其他所持品ナシ

右昨八年八月十七日本村内大谷別所高輪線ニ於テ轢死セルヲ發見檢視ノ上取調（タルモ住所氏名不詳ニテ引取人ナキヲ以テ本村大字大谷別所字稻荷共有墓地ニ假埋葬セリ心當リノ者ハ當役場ニ申出ツヘシ

昭和九年一月二十三日　靜岡縣濱名郡可美村役場

◉日本銀行週報

◉兌換銀行券發行高毎週平均高報告（自昭和九年一月二十一日至昭和九年一月二十七日）

發行兌換銀行券　一二、一五五、〇四五、〇〇〇圓

進備　金貨及金地金　四五、九九一、三〇〇圓

（公債證券　政府證券　保證手形　合計）

●營業毎週報告（昭和九年一月二十七日）

負債ノ部

	圓
資本金	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇
積立金及損益金	一四四、三二〇、一七九、三五五
發行兌換銀行券	一二五、〇五五、八一六、〇〇〇
政府預金	九、七五五、一六六、〇〇〇
其他	二三、五三〇、四五八、三五五
計	一九一、八四四、〇五二、〇一七

（政府預金　其他　計）

	圓
一般預金	一三五、一〇〇、八一二、二一〇
小額紙幣準備寄託金	一四二、九四四、八六四、六三七
其他	九九、八〇〇、〇七二、九九〇
總計	二〇一、七九二、八六一、一五八

資産ノ部

	圓
拂込未濟資本金	一五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
現金及地金	四二、〇七〇、〇一〇、四五七
金貨及地金	三三、〇一五、一九七、八五五
其他	四五、八、〇五五、二一三、五五
計	五六、四六、九〇四、四四〇
割引手形	二一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
政府ノ特別貸金	二九、二八一、三二九、〇四〇
政府ノ一時貸金	二六、九八一、三二九、〇四〇
貸付外國爲替貸金	二、九八一、三二九、〇四〇
公債代理店勘定	六〇、一七七、八七七、九〇〇
政府勘定特殊現金	六〇、一七七、八七七、九〇〇
小額紙幣準備保證金	四九、一四三、五五九、九六五
其他	一〇一、一四三、五五九、九六五
總計	一七、九九〇、六一六、二五八
	二〇一、七九二、八六一、一五八

日本銀行

昭和九年一月三十日

◎臺灣銀行券發行週報

自昭和九年一月十四日至昭和九年一月二十日臺灣銀行券發行平均高

	圓
銀行券發行高	四四、四六一、二一八、〇〇〇
內制限外發行	六三五、九二四、〇〇〇
準備	二三、八一五、三〇四、〇〇〇
保證	二〇、六三五、九二四、〇〇〇

昭和九年一月二十三日　臺灣銀行

正誤

本月二十二日本欄町村境界變更ノ項中五〇九頁三段三十六行「一一二〇ノ四」ノ下ニ「一一二〇ノ五」ヲ脫ス（報告誤）

千葉縣書記官

◉外國郵便物東京中央郵便局締切日時表

普通	通常	書留	小包	郵便船出船名
	月日	時	月日	時

●布哇、米國、加拿陀、南米等行

二、一四〇

一、前一、三〇

●英領北ボルネオ、ジヤバ行

同　前　八、午　同　二、後一〇

横濱　大洋丸

昭和九年度　學生募集

東京　明治大學　神田

◎大學豫科

○法學部　第一種（二年制）
○商學部　第二種（二年制）
○政治經濟學部　各第一學年

一、入學資格

高等學校高等科ノ學科ヲ修了シタル者、高等學校高等科入學資格試驗合格者

第一種＝中學校第四學年修了者、高等學校高等科修了者、高等學校高等科入學資格試驗合格者

第二種＝四月一日ニ於テ滿十七歳以上ノ者

一、試驗期日　▲第一種＝四月一日、二日午前九時開始　▲第二種＝四月四日、五日午前九時開始

一、試驗科目（第一種）英文和譯、漢文、作文、英文和譯、日本歷史、作文

（第二種）英文和譯、漢文、作文、英文和譯、日本歷史、作文

一、入學願書　三月一日ヨリ同月三十日迄受理、（郵便ニアラサル申込ハ各科共第一部志願ノ者ハ一日曜祭日ヲ除キ毎日午前九時ヨリ午後四時迄、第二部志願ノ者ハ午後四時ヨリ同九時迄トス）

◎專門部

○法科　第一部（書間）
○商科　第二部（夜間）
○政治經濟科（文藝科（書間）史學科（夜間））

各科共修業年限三ケ年ニシテ本科別科別ニ二種アリ但商科ニハ別科ナシ

一、入學資格

第一種＝本科生＝本學豫科第一種入學者ニシテ本學ニ於テ施行スル試驗ニ合格シタル者及上記ノ試驗合格者ト同等以上ノ學力アリト認定シタル者

別科生＝本學豫科第二種入學者ニシテ本學ニ於テ施行スル試驗ニ合格シタル者及上記ノ試驗合格者ト同等以上ノ學力アリト認定シタル者

一、試驗期日（文藝科（本科、別科）英文和譯、漢文、作文、政治經濟科、（本科、別科）英文和譯、日本歷史、作文

史學科（本科、別科）英文和譯、漢文、作文、地理及日本地理、作文（文語體）文藝科、本科（別科ナシ）英文和譯、書取、外國地理及日本地理、作文（文語體）文藝科、本科（別科ナシ）英文和譯、書取、外國語（英、獨、佛語何レニテモ可）史學科、本科別科（二部）國語、漢文

商科（本科（別科）英文和譯、漢文、作文、政治經濟科、（本科、別科）英文和譯、日本歷史、作文

（本科別科）ハ三月廿六日政治經濟科、商科ハ三月廿七日文藝科（本科別科）ハ三月廿五日史學科（本科別科）ハ三月廿一日

一、試驗科目（第一種）英文和譯、漢文、作文、政治經濟科（本科別科）英文和譯、日本歷史、作文

（第二種）英文和譯、書取、外國語（英、獨、佛語何レニテモ可）史學科、本科別科（二部）國語、漢文

商科（本科（別科）英文和譯、漢文、作文、政治經濟科、（本科、別科）英文和譯、日本歷史、作文

（本科別科）ハ三月廿六日政治經濟科、商科ハ三月廿七日文藝科（本科別科）ハ三月廿五日史學科（本科別科）ハ三月廿一日

一、試驗期日（文藝科（本科、別科）英文和譯、漢文、作文、政治經濟科、（本科、別科）英文和譯、日本歷史、作文

史學科（本科、別科）英文和譯、漢文、作文、地理及日本地理、作文（文語體）文藝科、本科（別科ナシ）英文和譯、書取、外國地理及日本地理、作文（文語體）文藝科、本科（別科ナシ）英文和譯、書取、外國語（英、獨、佛語何レニテモ可）史學科、本科別科（二部）國語、漢文

商科（本科（別科）英文和譯、漢文、作文、政治經濟科、（本科、別科）英文和譯、日本歷史、作文

（本科別科）ハ三月廿六日政治經濟科、商科ハ三月廿七日文藝科（本科別科）ハ三月廿五日史學科（本科別科）ハ三月廿一日

一、口頭試問（法科（別科）ハ三月廿六日、商科（別科）ハ三月廿七日、文藝科（別科）ハ三月廿五日、史學科（別科）ハ三月廿一日）

一、試驗科目（法科（本科、別科）英文和譯、漢文、作文、政治經濟科、（本科、別科）英文和譯、日本歷史、作文

商科（本科、別科）英文和譯、漢文、作文、政治經濟科、（本科、別科）英文和譯、日本歷史、作文

（本科別科）ハ三月廿六日政治經濟科、商科ハ三月廿七日文藝科（本科別科）ハ三月廿五日史學科（本科別科）ハ三月廿一日

一、入學願書　三月一日ヨリ同月三十日迄受理、（郵便ニアラサル申込ハ各科共第一部志願ノ者ハ一日曜祭日ヲ除キ毎日午前九時ヨリ午後四時迄、第二部志願ノ者ハ午後四時ヨリ同九時迄トス）

◎女子部

○豫科（修業一ケ年）（所在地ニ東京市神田區猿樂町一丁目四番地）

○法科（別科生）（本科生、聽講生）（修業二ケ年）

○商科

一、入學資格

豫科生＝修業年限四ケ年ノ高等女學校卒業者、專門學校入學者檢定規程ニ依リ一般專門學校入學ニ關シ指定セラレタル者同上規程ニ依ル試驗檢定合格者（以上入學願書受付順ニ依リ入學ノ許否ヲ定ム）

本科生＝修業年限五ケ年ノ女學校卒業者、女子師範學校卒業者、一般專門學校入學ニ關シ指定セラレタル者同上規程ニ依ル試驗檢定合格者（以上入學願書受付順ニ依リ入學ノ許否ヲ定ム）

別科生＝本科生トシテ入學シ得ル程度ノ學力アリト認定セラレタル者、修業年限五ケ年ノ高等女學校卒業者、女子師範學校本科卒業者、女子高等師範學校本科卒業者ト同等以上ノ學力アリト認定シタル者及上記ノ試驗合格者ト同等以上ノ學力アリト認定シタル者

一、入學願書　二月一日ヨリ三月末日迄受理（日曜祭日ヲ除キ毎日午前九時ヨリ午後四時（土曜ハ二時迄）受付）

一、選衡考査　三月三十一日午後六時

明治大學　附屬　明治中學校

○入學考査　二月十八日

一、出願期日　三月三十日迄（受付毎日午後四時ヨリ七時迄）

文部大臣認可　第一學年　夜間甲種　第二學年　第三學年

東京神田猿樂町二ノ二

明治大學商業學校

◉本校卒業者ハ明治大學ニ優先入學其他詳細規則ハ郵券二錢封入本校申込ノコト

○第一學年生徒約百五十名募集

明治大學　附屬

○入學考査　二月十八日

注意

入學願書用紙、入學志願者心得、學則等ハ本學ヨリ交付ス郵券貳錢封入申込ノコト

其他詳細ハ郵券二錢封入各科教務課照合セラルヘシ

入學願書用紙（(1)入學志願者ハ(2)入學豫科志願者ハ修了、卒業成績證明書、(3)最終學校（其他ノ入學資格ヲ有スルモノハ資格證明書、(4)法科（夜間）ハ專門學校入學者ニシテ各本科入學志願者ハ卒業成績證明書又ハ檢定合格證明書、(5)法科志望者ハ刑事訴訟法ノ內撰擇（司法科又ハ文科入學志願者ハ修業成績證明書又ハ檢定合格證明書、(6)商科（夜間）修業年限一ケ年）及(7)受驗料五圓（添付ノ上、所定ノ期間內ニ敎務課ニ出願シ受驗票ヲ受ケヘシ）文科別科生ハ右ノ(1)(3)(4)ノミ出願書ヲ添ヘテ出願ノコト

◉志願者手續要項

入學志願者ハ(1)入學豫科志願者ハ修了、卒業成績證明書（其他ノ入學資格ヲ有スルモノハ資格證明書。(2)法科（夜間）ハ專門學校入學者又ハ同等以上ノ者又ハ履歷・學力・人物詮衡ノ上適當ト認メタル者

一、出願手續（(1)入學願書(2)卒業又ハ修了證明書(3)下掲ノ寫眞二葉(4)詮衡料五圓ニ(5)履歷書ヲ添（出願スヘシ

一、入學資格

豫科生＝修業年限四ケ年ノ高等女學校卒業者、專門學校入學者檢定規程ニ依リ一般專門學校入學ニ關シ指定セラレタル者同上規程ニ依ル試驗檢定合格者（以上入學願書受付順ニ依リ入學ノ許否ヲ定ム）

本科生＝修業年限五ケ年ノ女學校卒業者、女子師範學校本科卒業者、女子高等師範學校本科卒業者ト同等以上ノ學力アリト認定シタル者及上記ノ試驗合格者ト同等以上ノ學力アリト認定シタル者

別科生＝本科生トシテ入學シ得ル程度ノ學力アリト認定セラレタル者、修業年限五ケ年ノ高等女學校卒業者、女子師範學校本科卒業者、女子高等師範學校本科卒業者ト同等以上ノ學力アリト認定シタル者及上記ノ試驗合格者ト同等以上ノ學力アリト認定シタル者

一、入學願書　二月一日ヨリ三月末日迄受理（日曜祭日ヲ除キ毎日午前九時ヨリ午後四時（土曜ハ二時迄）受付）

2126 2126 2126

滿洲電信電話株式會社第一回條式轉換社債償還公告

償還番號	株數	名義人	發行所
拾株 五四壹番	五株	下關 眞一	日本興業銀行大阪支店
拾株 五四貳番	五株	岡部 ミナ子	同
拾株 五四參番	五株	谷口 芳雄	同
拾株 五四肆番	五株	鹽飽 秋一郎	日本興業銀行名古屋支店
拾株 五四伍番	五株	朝倉 久	同
拾株 五四陸番	五株	田邊 重夫	日本興業銀行神戶支店
拾株 五四柒番	五株	田邊 登	日本興業銀行關門支店
拾株 五四捌番	五株	田中 志二郎	日本興業銀行本店
拾株 五四玖番	五株	田中 太五郎	同
拾株 五五〇壹番	五株	井上 正一郎	朝鮮銀行本店
拾株 五五〇貳番	五株	津內	同

右償還證ニ添ヘノ利札ノ內未拂ノ分ハ昭和九年一月廿九日以後ハ當會社ニ於テモ取扱ヒ不申候間此段及通知候也

昭和九年一月廿九日　滿洲電信電話株式會社

公告

松本市借家公債ノ內本月三十一日償還スヘキモノ左ノ通リ當籤ス

五千圓券　第三號　第二四號　第五七號　第七〇號
一千圓券　第五號　第七號　第一七號
五百圓券　第三號

昭和九年一月　松本市役所

高文、普文及學生受驗者の必讀書（見本金十錢）

（毎）二月一日　第六卷第一一號
（發）二月一五日　同二三號

國家試験

定價　送料　金六二十錢

▲國際法の客觀的研究東京帝國大學敎授橫田喜三郎▲現代工業政策論（二）特許局事務官井藤三▲給料生活者に對する社會政策國際勞働局氷室吉平▲帝國憲法講話（九）辨理士試驗常任委員明治大學及專修大學講師野村信孝▲國家試驗答案の書き方と其の用字東京地方裁判所判事野間繁▲昭和八年高等試驗各科問題答案▲戰時國際公法答案橋成哲領島津嘉孝▲苦闘の跡を顧みて島澤哲令▲天は自ら助くる者を助く伊藤清▲行政科口述問答實記前田寬▲口述實錄神川鎌廣▲口述試驗の實跡津田正良▲高等試驗司法科受驗感想聽春子▲高等試驗行政科受驗奮闘記Y・O生▲高等試驗司法科受驗記K・O生▲自己の特質を合理化した準備法長谷川寬▲敢て合格の要諦と題す佐藤金一▲高文に合格したら如何なる勅選議員の卷▲昭和八年度高等試驗行政科司法科出身別調▲司法科合格者座談會▲在學調▲東京帝國科大學學生生徒募集▲東京外國語學校生徒募集▲學費減額等▲法律顧問

●帝大正門前　育成洞　東京本郷森川町　電話小石川(85)七八一　振替東京一七三三四

昭和八年度官報販賣所一覽

管轄區域	販賣所名	營業所位置（電話）	販賣人氏名
北海道	札幌	札幌市北一條西二ノ三（札幌九七五）	小綠 一二九九五	森佐久間
東京第一	東京第一	東京市小石川區表町一（小石川三〇九二）	森屋俊三
東京第二	東京第二	同神田區錦倉河岸二三（錦町二三三）（錦町九六八）	安東保吉
東京第三	東京第三	同牛込區市ヶ谷臺町一（四谷二九六八）	吉田禮次郎
京都	京都	京都市中京區柳馬場通三條下ル槌屋町第八六番八八（本局四二六七）	大阪 二五六三	株式會社福井松之助
大阪	大阪	大阪市西區江戶堀下通一ノ二一（土佐堀一九一九）	大阪 五七五六）	植田爲造
橫濱	神奈川縣	橫濱市中區野毛町三ノ一五九（長者町一七〇）	東京 五七一七五	鈴木信一
神戶	兵庫縣	神戶市榮町五ノ一一（元町 三七）	大阪 二三〇七）	船井長治
長崎	長崎縣	長崎市臺場町二ノ一〇（長崎 一四二三）	福岡 六八六八）	大塚運象
新潟	新潟縣	新潟市古町通七番町新潟目抜書店方（新潟九〇三）	長野 三一〇八	目黑十郎
浦和	埼玉縣	埼玉縣北足立郡浦和町木町四五二二（浦和三一七）	東京 二五七四五	清水藤左衛門
前橋	群馬縣	前橋市連雀町七（前橋一六七）	東京 五五六四一	板井八重子
千葉	千葉縣	東京市小石川區表町一〇九（小石川三〇九二）	東京 六四〇九二	森屋俊三
水戶	茨城縣	水戶市上市橋町一ノ三六（水戶一八八）	東京 七四一	吉田禮次郎
宇都宮	栃木縣	宇都宮市本郷町二三（宇都宮三二三）	東京 四二一六四	藤田惣太郎
奈良	奈良縣	奈良市橋本町二六（奈良二四〇）	東京 四〇一七	乾善兵衛
津	三重縣	津市京口町二一一（津一三〇）	名古屋 一〇三九	別所藤四郎
名古屋	愛知縣	名古屋市西區下長者町四ノ九（本局一七五五）	名古屋 一三五一〇	會社名古屋川瀨株式會社代表者 川瀨條吉
靜岡	靜岡縣	靜岡市奧御町五ノ八（靜岡二一五）	東京 三二三七	江河勝太郎
甲府	山梨縣	甲府市柳町九六（甲府 五一）	東京 一一四	大塚源太郎
大津	滋賀縣	岐阜市七軒町一一（岐阜五八一）	名古屋二四五〇	西濃印刷株式會社岐阜支店 河田貞次郎

內閣印刷局

第七十四期末昭和八年十二月三十一日現在

貸借對照表

資產之部	金額	負債之部	金額
現金	一、九一九、〇〇〇、〇〇	資本金	三、〇〇〇、〇〇〇、〇〇
預ケ金	一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇	積立金	五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇
有價證券	二、八七七、一〇〇、〇〇	當期利益金	二、三五三、三五五、三五
貸付金	二、二五〇、〇〇〇、〇〇	當期損失金	一、三五〇、七〇六、三五
手形貸付金	一、九八〇、〇〇〇、〇〇	假受金	二、九一七、九一
當座貸越	一、六二八、五五二、〇二	未拂株主配當金	三、四〇二、三五
割引手形	三、五〇〇、〇〇〇、〇〇	前期繰越金	二、九一七、九一
外國爲替手形	一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇	合計	三四、二、九四二、三五
支店勘定	三、四〇二、三五		
未拂利息	一、〇〇〇、〇〇		
未經過保險料	一、六二八、五二一		
未經過支拂利息	六、八九一、九九		
貯藏品	九、三五七、四八		
當期損益金	一、八三六、三五		
合計	三四、二、九四二、三五		

損益計算書

借方	金額	貸方	金額
諸預ケ金	一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇	諸預リ金	二、〇五六、八〇〇、〇〇
未拂株主配當金	一一〇、一九六	未拂利息	三一五、〇〇
當期利益金	一、九八〇、〇〇〇、〇〇		
合計	二、九八一、二四四、三五	合計	二、九八一、二四四、三五

右之通候也

昭和九年一月

京都瓦斯株式會社

第二十五期營業報告書

昭和八年十二月三十一日現在

貸借對照表

資產之部	金額	負債之部	金額
有價證券	二、八七七、一〇〇	山林及土地建物	六、七五二、〇二〇
未拂株主配當金	一一〇、一九六	當期利益金	三一五、〇〇
當期利益金	一、九八〇、〇〇〇	合計	六、八六四、二三五
合計	六、八六四、二三五		

右之通候也

昭和九年一月

京都瓦斯株式會社

本市電氣事業公債ノ內本月三十一日償還スヘキモノ左ノ通リ當籤ス

五千圓券　第三號　第二四號　第五七號　第七〇號
一千圓券　第五號　第七號　第一七號
五百圓券　第三號

昭和九年一月　松本市役所

都城市電氣事業公債ノ內本月三十一日償還スヘキモノ左ノ通リ當籤ス

五千圓券　第三號　第二四號　第五七號　第七〇號
一千圓券　第五號　第七號　第一七號
五百圓券　第三號

昭和九年一月　都城市役所

第四拾貳期決算報告

貸借對照表

負債之部	金額	資產之部	金額
資本金	三、〇〇〇、〇〇〇、〇〇	現金	一、九一九、〇〇〇、〇〇
法定積立金	五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇	預ケ金	一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇
未拂手形	二、三五三、三五五	有價證券	二、八七七、一〇〇、〇〇
當期損益金	一、三五〇、七〇六、三五	貸付金	二、二五〇、〇〇〇、〇〇
合計	三四、二、九四二、三五	當座貸越	一、六二八、五五二、〇二
		割引手形	三、五〇〇、〇〇〇、〇〇
		外國爲替手形	一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇
		支店勘定	三、四〇二、三五
		未拂利息	一、〇〇〇、〇〇
		未經過保險料	一、六二八、五二一
		未經過支拂利息	六、八九一、九九
		貯藏品	九、三五七、四八
		當期損益金	一、八三六、三五
		合計	三四、二、九四二、三五

損益計算書

借方	金額	貸方	金額
假拂金	三、六八五、九二四	假收入金	三、六八五、九二四
未經過保險料	一、六二八、五二一	諸預リ金	二、〇五六、八〇〇、〇〇
未拂株主配當金	一一〇、一九六	未拂利息	三一五、〇〇
當期利益金	一、九八〇、〇〇〇		
合計	六、八六四、二三五	合計	六、八六四、二三五

處分案

	金額
當期損益金	一、三五〇、七〇六、三五
前期繰越金	二、九一七、九一
差引後期繰越金	二、九一七、九一

右之通リ候也

昭和八年十二月三十一日

株式會社大阪ホテル

營業品目

天幕　雨覆　天幕　雨覆　地作業衣　麻帆布　麻糸　布ホース　絹帆布　防水布類一切　賣買　製造　販賣　卸賣

陸海軍諸官省御用

小川治兵衛商店

東京市深川區永代一丁目十六番地
電話大所（73）四一三八番　四六〇五番
工場　京橋區月島東仲通四ノ下
電話京橋（56）一五六六番

（カタログ進呈）

官報　第二一二三號　昭和九年一月三十一日　水曜日

本文　21225

福兒保險

生れた時から十歳六ヶ月まで
誰でも無診査で入れます

愛兒の成長を樂しみ乍ら知らぬ間に
相當の金額が出來る子供本位に作ら
れた保險です

一日八錢で三十歳
の時には千圓にな
つてゐる保險でも
し二十一歳以上の
時に萬一の事があ
れば保險額の全額
が支拂はれ、二十
一歳以下の場合は
掛金以上の金額が
贈られます

又、中途で結婚入
學等のために不時
の入用の時には低
利の貸付けも致し
ます

加入者に絶對に
損にならない完
全な子供保險です

御申越次第「福兒生命保險案內」及び
育兒の栞を御送りします

本社　東京・日比谷
常磐生命保險株式會社

電話銀座(57)自一五〇〇至一五七
支社支部全國福要地

昭和二十五年三月三十一日第三種郵便物認可

社會時情

二月號　金三十錢　送料一錢
●一年前金三圓四十五錢
●半年前金一圓七十五錢

小題瑣言
配給組織に就いての時論二題　東京帝大助教授　渡邊信一
文學博士　笹川臨風

日本にタッタ一つの新雜誌

主要記事

經濟財政　第六十五議會の經濟諸問題・ソ聯邦の第二次五箇年計畫其他六項
思想　印度の國民運動・最近の論文に現れた愛國主義運動其他四項
國防軍事　米國の大海軍建造案・第二次華府會議延期すべからず其他四項
教育　大衆青年の教育は社會立法の强化で・私學問題其他四項
社會　全國産業勞働會議の設立・米穀統制法の再吟味其他五項
政治外交　第六十五議會と選擧法改正案・外交工作の强化統制其他四項
藝術　來朝したモオリス・デコブラ・ブロ文學團の狀態其他十項
法律　治安維持法改正案・アイヌ人保護地處分法案其他三項

隨筆　ホンのつまらぬこと　水島爾保布
歩兵銃は完全に操縱される　川上濶
創作としての科學　寺尾新
大和思想　大關將一
劇の行衛　下村海南
時事漫畫〔明日の人〕　東の森田・西の津田
其他

東京矢來町　牛込區東京振興會　南郊社　全國書店發賣

新刊
日本速記社長　田鎖一著
一五式
日本速記法
四六判二百餘頁　上製凸版八十頁
金一圓五十錢　送料八錢

定價　一ヶ月　九十五錢　一圓八十錢（外國郵便ニ）
一部　五錢　（振ノ地域）　各紙料共
廣告料　本公會　六號一行　三十錢　五號五錢四號十錢增
一般廣告　六號十四字詰一行　二十五錢

發行所　東京市麹町區大手町　內閣印刷局　電話丸ノ內三一〇番　振替東京一九〇〇番

（本書ノ大サハ國定規格A4判）

付録

秘 21122 号

雜報 530

昭和八年世界經濟概觀（その三）

外務省來栖通商局長談

本號においては南洋とオースタラリア方面をみることにしやう。

オースタラリアにおいては、財政は歳入超過を示し、金融緩漫に伴つて丙債發行も好成績を擧げ、事業も好轉し小麥、羊毛の海外需要增加に輸出增加を見る等、經濟界一般に顯著な回復を示した。なほ同國は十月五日より爲替調節に關する關稅改正を實施し、英帝國特惠稅率の引下をしたが、右は保護關稅に限定され、わが國輸入稅率は据置かれた。

南洋諸國中ヒリツピンにおいては、比島獨立問題に關聯し非受理派、受理派の論爭をひき起してその解決を見ず、前途なほ紛糾を豫想される。しかして同島經濟界は米國財界同樣の影響を蒙ること薄く砂糖、麻、煙草等特產市價回復に購買力增加して、貿易もまた增進を見た。

オランダ領東印度においては、同領財政難深刻化のため關稅、內地諸稅の引上乃至新設があり、七月には非常時輸入制限令を公布する等、外國品輸入制限傾向顯著なるものあるのに鑑み、彼我兩國間に日蘭協議會開催の運びとなつた。經濟界はゴム、錫、茶等市況昂騰に未だ不振の域を脫してゐないのにかゝはらず、漸次回復した。特にわが國對同領貿易は、在留華僑のボイコット緩和に、顯著な增加を見たことは異とする。

その他英領馬來、シヤム、佛領印度支那においても特產物市況改善、輸出增加の外、銀價强調に購買力が增加した。

イギリス領印度においては客年夏烈を極めた國民派の運動も漸次洗淨に歸し、政情安定を加へて來た。他方印度憲法改正法案に關し、六月以來ロンドンに英印聯合選擧委員會招集され、審議が續行されてゐる。

財政は低金利に乘じ七億八千万ルピ餘の公債借換と、經費節減により改善を見、貿易も金の輸出により均衡を維持し、經濟界は棉花、黃麻等輸出增加と、銀强調に購買力增加したが、紡績その他工業は外國品の進出による影響を蒙り不振裡に經過した。

政府は國內產業保護の見地より三月先づ人絹およびソダ灰機物關稅引上をなし、四月議會にダンピング防止案（產業保護法案）を提出すると共に、一九〇五年日印通商條約廢止に決し、四月十日附をもつてわが國に通告し、さらに六月に入り英國品を除く外國綿布に對し、從價七割五分の禁止的關稅を賦課するにいたつたため、わが國輸出綿布は多大な影響を受け、內地においては印棉不買運動を見る等、彼我兩國の關係圓滑を缺くにいたり、こゝに圓面打開のため政府は官民代表を派遣し、日印圓議を行はしめることにし、九月以來會合を重ねること十數次におよびたるが、會議の成否は日印貿易の將來に甚大なる影響があるので愼重對策を講じつゝある。

次に隣邦支那を見るに政局は混沌たる情勢を示し、廣東、中央兩政府の內訌の外、中支一帶は共匪の跳梁猖獗を極め、交通不安と農村荒廢による一般購買力減退の外、滿洲國獨立も影響して、貿易著しく不振を呈し金融の逼塞、財政の窮乏甚大なるものがあり、その間政府は新銀貨を鑄造し、四月以降幣兩改元を斷行し幣制統一を企圖し、五月には日支互惠關稅協定の滿期を機とし、一般關稅率に一大修正を施し、六月末にはアメリカとの間に五千万ドルの棉麥借款を締結する等、財政の改善、經濟復興に努めてゐる。

日支兩國の關係客年來疏通を缺くところがあつて、抗日運動全土に波及し、わが國對支貿易におよぼすところ甚大なるものがあつたが、五月北支停戰協定成立を機とし、抗日運動も相當緩和せられ、かつまた長江筋も洪水緩念解消し奥地の政情安定を加へるに伴ひ、漸次回復を見、中支、南支方面貿易漸增の傾向を示した。

なほ、十二月に入り、隔建獨立問題のため、前記回復の傾向多少逆轉を見たところのあるのは頗る遺憾である。

終りに滿洲國においては、多事多難であつた建國一週年を迎へ、戰時工作一巡と共に經濟建設の大綱を樹立し、經濟工作進展期に入つたが、爾來彼我兩國の關係は貿易、金融、放資の諸方面においてますます緊密を加へつゝあり、日滿經濟統制問題は、國策上早急解決を要すべきものといはなければならない。

これを要するに、國際經濟の情勢は約四箇年にわたる不況期試鍊の結果、經濟界漸次著しく良化し低金利持續による財政の改善、インフレーション擡頭に伴ふ物價の上騰、國際重要商品の昂騰、貿易の回復等、漸く景氣向上の過程に入つたものゝやうに觀取されるが、各國における貿易政策は、國內產業保護といはゆるブロック經濟結成機運と相まち、關稅の引上、輸入割當制度創設等、通商上の障碍を加重せしめ、金擁護のためには爲替管理を施行し、取引の圓滑を阻害するところあり、さらにまた關稅休日協定も脫退者相つぎ、その實效を喪失した如きは、國際經濟の圓滿な發展を希望する見地より誠に遺憾の點がすくなくない。しかしながら、右に對し局面打開のため、各國當業者の協調努力により、小麥、亞鉛、粗銅、茶、錫、砂糖、銀等に關し、協定の新設乃至延長を見た如き、最近各國間における通商協定中互惠關稅乃至物々交換に關する條項を設けた如き、さらにまた片貿易調整に關し關係國間に協定進捗を見た如きは、當然すべき例證といふべくその間本年のわが對外貿易は世界主要國に比し顯著な躍進を示し、就中輸出においては都品は普く世界市場に進出を見たことは、單に爲替關係による、ものでなく、內地產業の合理化により原價低下され、內地物價國際水準に比し低位にあつたのによるところもまた大なりし等は閒視し得ざる點である。

わが國は右の如き情勢にも鑑み、一方益々內地產業を整備し、わが國品の原價低下に努め、廣く各國の需要を喚起すると共に、輸出の統制によりわが國品廉賣の禍根を芟除するを要すべく、他方列國と相提携し、片貿易の調整に努め、更にまた國際經濟の圓滿なる發展のため、通商障碍の打破に關し一層の努力を致すこと緊要なりと思考せらる。（をはり）

戰時に對する戰力の統制について（その三）

陸軍省調査班

（一）產業動員

平時產業は國民生活を主體として一部の統制を加へるに止めるが、戰時產業は軍需充足を第一義として統制經濟によるのを本旨としてゐる。しかしてその轉移が整々行はれなかつたならば、經濟恐慌の波紋を大にし、供給を圓滑ならしめることができないで戰爭遂行の信念を破壞するから、平時より戰時經濟の根基を確立して、平戰時の產業政策を調和して、戰時における軍民の需要を滿足させる準備を完成して置く必要がある。

A　不足資源の補塡

滿洲國の資源を活用し得る現在においては、食糧、錢、石炭の如き戰時必須資源は概ね國の需要を充足することができるが、石油、鉛、亞鉛、錫、ニツケル、アルミニウム、白金、水銀、石綿、ベンゾール、トルオール、生ゴムの如き重要資源で不足するものがすくなくない、これ等不足資源については、戰時一層消費節約、廢品利用等の手段を講ずるものはもちろん、その開發確保、または代用品の研究において萬遺憾のないことを期しやし

第2122号　付録

昭和七年度における平均一戸市区町村民税額の状況を示すと左の通りである。

国税負担総額二七、九四一圓五五銭二〇〇〇

法令に準拠する産業組合二七、八七圓（六・五%）

法令に準拠しない産業組合七〇銭（六・五%）

法令に準拠する産業組合一四、三四圓（六・六五%）

法令に準拠しない産業組合一、八五圓（八・四%）

この算出方法は農村の場合と同様である。

以上において見るごとく法令に準拠する産業組合の負担は組織の大部分を占めるところのその他のものの性質に三割八分位に過ぎないこれは既に断つた如く調査困難のため、漏洩のないものが相当にあることを考慮しなければならない。

▼法令に準拠する産業組合一戸当における国税負担は農村の場合と相当異つてゐるが、表も参照的のものは農会と商工会議所である。

国税の負担額は十六圓で、一圓以上二圓未満の組合が最も多く、二圓以上三圓未満の組合がこれに次いでゐる。

国税負担総額は七十万六千六百九十二圓六十二銭となつてゐる。

各圏域の分布ならびに負担状況を示すと左の通りである。

圏域名	負担金額	圏域数	組合員数	都市数
商工会議所	三六、〇三四圓	一圏	二六、五〇四	二圏
同業組合	一四、三六圓	四六	三、五六五	六
農会	九〇、六三一	三三	三、五六五	三
産業組合	一四、〇六六	一一〇	三、一五五	一三
工業組合	三、三五七	三	六三五	一
林地開発組合	二、〇〇〇	七	九〇〇	一
養蚕改良組合	七、三〇一	七六	三、〇五五	一〇
商合同組合	七、四一五	四	五五四	四
同業組合	六、六八九	一	六三五	一
水産組合	四、七三五	四	九五五	一
漁業組合	二、三五〇	一	一〇〇	五

蚕業組合	一、三四圓	一	一、三四	一
漁業組合	一、四三五	一	一、四三五	一
水利組合	一、〇五五	一	一、〇五五	一

備考　同業組合には各種のものを含むが、酒造同業組合のみは負担において著しい差があるので、これを区別した。

表に圏域一人当および一戸当負担の状況は左の通りである。

工業組合　一人当三圓七七銭　一戸当三、五四七圓

米穀商組合　一人当一圓六七銭　一戸当一、〇〇〇圓

漁業同業組合　一人当一圓四〇銭　一戸当一、八五六圓

蚕業組合　一人当一圓七七銭　一戸当一、一三圓

商工会議所　一人当一圓六七銭　一戸当一、三五〇圓

同業組合　一人当一圓六七銭　一戸当一、八六圓

農会　一人当一圓六七銭　一戸当一、八六圓

産業組合　一人当一圓六七銭　一戸当一、八六圓

▼法令に準拠しない産業圏域　その負担は十六万であつて、圏域数は七百十三あり、その負担総額九万九千十三圓で圏域当たり百三十七圓八銭となつてゐる。

なほこの表に載つた圏域が真も圏全土圏域であることは前に述べた通りである。

圏域名	負担金額	圏域数	組合員数	都設市数
組合商同業者	四、〇二圓	一圏	一一〇、一七九	一圏
農家小組合	二、二三圓	三五六	九、三五五	二
漁業協同組合	七、三一圓	三〇	三、〇五六	二
工業組合	七、〇三圓	三	三、〇四〇	二
養蚕協会	七、〇三圓	三	三、〇四〇	二
製糸協会	五、五六圓	二	一、〇〇〇	二
小作組合	四、三五〇	九	六九〇	五
出荷組合	四、三五圓	一	六一	五

蚕業組合	三、三五二	三	四、五六八	二
漁業組合	一、四三圓	五	一、九七四	一
水利組合	一、〇五五	一	一、〇五五	一

備考　同業組合には各種のものを含むが酒造同業組合のみは負担において著しい差があるので、これを区別した。

表に圏域一人当および一戸当負担の状況は左の通りである。

工業組合　一人当三圓七七銭　一戸当三、五四七圓

米穀商組合　一人当一圓六七銭　一戸当一、〇〇〇圓

漁業同業組合　一人当一圓四〇銭　一戸当一、八五六圓

蚕業組合　一人当一圓七七銭　一戸当一、一三圓

商工会議所　一人当一圓六七銭　一戸当一、三五〇圓

同業組合　一人当一圓六七銭　一戸当一、八六圓

農会　一人当一圓六七銭　一戸当一、八六圓

産業組合　一人当一圓六七銭　一戸当一、八六圓

▼法令に準拠しない産業圏域　その負担は十六万であつて、圏域数は七百十三あり、その負担総額九万九千十三圓で圏域当たり百三十七圓八銭となつてゐる。

なほこの表に載つた圏域が真も圏全土圏域であることは前に述べた通りである。

圏域名	負担金額	圏域数	組合員数	都設市数
商工会	三、一〇〇	三	一、三五〇	三
同業組合	一、七九圓	二七	一、一三七	八
同業協同組合	一、五〇〇	一	三、〇〇〇	一
商進興会	一、五〇〇	一	七五	一
自治組合	一、〇四〇	一	六六	一
蚕業組合	一、〇一六	一〇	六三七	四
合博業組合	一、〇〇九	四	八三	一
米穀商組合	九六〇	一	一三一	一
保険組合	四五〇	一	三五	一
蚕糸業組合	四三五	一	三五	一
品評会	三三三	一	四三五	一
豚組合	三四四	一一	三四八	五
魚業組合	二九五	一	四三	一
蚕業組合	一六〇	一	一六〇	一
蚕業組合	一三五	五	一三五	二
蚕業組合	一三五	一一	一一〇	一
地主組合	六〇	一	一五〇	一
蚕業組合	六〇	一	三〇	一
畜牛組合	四三	一	一九三	一
蚕業組合	三六	一	一八	一

備考　各圏同業者組合とは県届本物商組合、小間物商組合、洋酒醤油組合、米商組合、呉服太物商組合、木材業組合、和洋酒醤油組合、青物業組合、料理業組合、金銀糸工業組合、洋服業組合、家具商組合、蚊帳組合、畳業組合、石材工業組合、カフエー業組合、酒造組合、菓子商組合、木工業組合、古物商組合、陶器商組合、漁業組合、畜産物業組合等各圏同業者圏域を包括する。

近畿官廳刊行圖書抄報

◎左記は各官廳近刊圖書中各局へ頒布の一部を抄録したもの

滋賀縣治年次統計（縣廳內務部）（滋賀縣大津町）

日本鐵道會社圖（東京鍛冶町區丸ノ內）

◎國勢各論（東京市麴町區九段一丁目）

支那產業調查資料（大分高等商業學校）

◎地方廳令達類纂（同所）

實業補習學校規程（縣立實業補習學校）

◎花卉栽培指針（縣農會）

◎支那部を中心とする對滿蒙貿易參考圖の說明（縣立實業補習學校）

◎商品陳列館案內（大阪市役所）

◎北海道ベスト（全上）

◎農業技術員設置規程（縣農會）

◎病害虫發生豫察參考資料（縣農會）

◎農事試驗場報告（縣立農事試驗場）

◎南洋諸島の經濟（拓務省）

◎農業協同組合概況（大阪府）

◎市立商業學校一覽（全上學校）

◎農業實習生の實例（全上學校）

◎蚕作業講習會概況（縣蚕業講習所）

◎蚕作業講習會概況（縣蚕業講習所）

◎蚕業組合（同）

◎蚕業組合連合會蚕業技術者の爲に（縣農會）

◎蚕業組合（同）

◎蚕業組合（同）

◎蚕業組合（同